

～ 交通死傷事故削減に向けた取り組みの方向性～

自転車・歩行者交通安全マップ アンケート報告書

皆様にご協力いただきましたアンケートが報告書としてまとまりましたので公表いたします。

皆様から寄せられた貴重なご意見を決して無駄にせず、歩行者や自転車が安心して通行できるよう、関係機関と連携し「危険箇所改善」に全力で取り組んで参ります。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。



平成18年9月1日

国土交通省金沢河川国道事務所
交通対策課長 石川 俊之
地球の友・金沢 代表 三国 千秋

調査の実施方法

- ・対象は「自転車・歩行者安全マップ」を制作した、森本地区・鳴和地区・城下町地区のマップ制作に協力いただいた皆様から77名を抽出。
- ・アンケートは6月15日に郵送にて配布、6月30日〆切で郵送にて回収を行い、国土交通省が分析。

調査にご協力頂いた皆様

配 布：77世帯

回 収：46世帯 回収率59.7%

自転車・歩行者安全マップの危険箇所改善状況がわかる「道の点検簿」及び「本アンケート結果」は下記ホームページで情報公開しております。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/tenkenbo/>

目次

交通死傷事故削減に向けた取り組みの方向性
～ アンケート結果の概要総括表～

道の点検簿
～ PDCA マネジメントサイクルによる交通死傷者事故削減の取り組み～

アンケートの結果

回答者属性 1

安全マップ作成を振り返って

1	どんな目標・目的を持って自転車・歩行者安全マップ作成に取り組みましたか？ 2
2	制作を開始する時期は、どうですか？ 5
3	調査で苦労したところがありましたか？ 8
4	調査した「危険箇所」は、現在どうなっていますか？また、その「危険箇所」はどこですか？ 13
5	行政機関(国、県、市、警察)の協力はありましたか？ 17
6	完成した自転車・歩行者安全マップは、全体的に満足の出来るものでしたか？ 21
7	自転車マップを活用しましたか(地域で・学校で・家庭で)？ 27

安全な道路整備を目指して

8	自転車・歩行者安全マップに新たに追加したい内容や改善点がありますか？ 31
9	自転車・歩行者安全マップの範囲はどうですか？ 33
10	マップはどのくらいの期間で更新するのが適切だと思いますか？ 36
11	制作をした小中学校の他、地域住民の方にも配布したほうがいいですか？ 38
12	自転車・歩行者安全マップのPRをしたほうがいいですか？ 41
13	交通死亡事故の56%が自宅から0～500mの範囲で起きていることをご存じですか？ 43
14	身近な生活道路で事故が多いのは危険箇所が未対策であるからで、行政に責任があると思いますか？ 45
15	交通事故のほとんどは「ルール違反」と「不注意」で起きています。交通事故を減らすためには、地域住民と行政が協力して対策を行うことが重要だと思いますか？ 49
16	危険箇所において、行政の対応に加え、地域住民である自分達が行う対応も必要だと思いますか？必要な場合、どのような対応が考えられますか？ 52
17	道路利用者(地域の皆様)が、自ら道路を点検し改善要望することをどう思いますか？ 56
18	これからの道路整備はどれを優先したらいいですか？ 60
19	マップを作成したことにより、交通安全や道路の安全性に対する意識の変化はありましたか？ 64

その他意見等 68

交通死傷事故削減に向けた取り組みの方向性 ～ アンケート結果の概要総括表 ～

国土交通省金沢河川国道事務所
交通対策課長 石川 俊之
地球の友・金沢 代表 三国 千秋

アンケートの目的

1. 自転車・歩行者交通安全マップの評価と今後の進め方

・安全マップの評価、制作の問題点・方向性を明らかにする。

2. 危険箇所改善の評価と今後の進め方

・危険箇所改善の評価、改善に向けた問題点・方向性を明らかにする。

3. 交通安全の啓発と意識変化

・安全マップ制作による交通安全意識の変化を明らかにする。

4. 行政へのご意見・ご要望を踏まえた今後の進め方

・安全マップ制作を通して感じた行政ニーズを明らかにする。

アンケートの結果

1. 交通安全マップは概ね満足、活用した方は約5割

制作した安全マップは、「満足できる」が35%、「まあまあ満足できる」が51%であり、全体の評価としては満足されている。
安全マップの制作範囲と制作時期は「現状のままでよい」が共に7割を占めた。
不審者が出没する場所を加えて欲しいという意見が多かった。
安全マップを「活用した」が54%に対し、「活用しなかった」が42%もおられた。
児童と保護者の間で危険度の認識にズレがあり、危険か安全かの判断が難しいことがわかった。また、児童間でも危険度の認識に違いがあった。

2. 危険箇所が思ったより改善されていない

危険箇所が「改善されていない」が42%、「わからない」が24%であった。材木町小地区・馬場小地区・小將町地区では、危険箇所が改善されたと思う人はいなかった。
住民は早急な危険箇所改善を求めており、身近な生活道路で事故が多いのは危険箇所が未対策であるからで「少なからず行政に責任がある」と考えている。
(8月15日現在の改善率: 森本地区54%・鳴和地区55%・城下町地区21%)

3. 交通安全意識は高揚した

安全マップを制作したことで住民の交通安全意識が高まった。
交通死亡事故の56%が自宅から0～500mの範囲で亡くなっている事を「知らない」方が8割を占めた。

4. 行政機関はもっと住民と協働すべき

「行政機関に危険箇所を実際に見てほしい。一緒に見て回りたい」等の意見があった。
住民から行政にはなかなか相談しにくいという意見があった。
住民と行政が協力して対策を行うことが「重要だと思う」が9割を占め、住民は行政と協力して対策を行うことを望んでいる。
行政の対応に加え「住民が行う対応も必要だ」が7割を占め、改善に対する住民の意識が高いことがわかった。

今後の進め方

1. 住民要望をふまえた交通安全マップの制作

防犯や不審者情報、歴史的に子供達に教えておきたい場所等、各地区毎に追加したい情報を追加して学校や地区毎に利用しやすくする。
安全マップの制作時期と制作範囲は現状どおりとし、多くの住民が参加しやすいよう更に工夫する。

2. 道の点検簿を活用した危険箇所の早期改善

9月下旬に行政機関と住民を会した「意見交換会」を行い、危険箇所の改善状況の報告、住民の改善提案等、改善に向けた意見交換を行う。
道の点検簿: PDCAサイクルにより、危険箇所の「3年以内改善」を目指す。(P: plan D: do C: check A: action、次ページのレポート参照)

3. 広報体制強化

「自宅付近で交通死傷事故が多発」している事を住民に広報することで、交通安全の啓発を図る。
安全マップに協力して頂いた方々を經由して、公民館、スーパー、子供会などに配布し「掲示」や「自由にお取り下さい」方式で配布してもらう。
教育委員会、安全運転管理センター、メディアにも安全マップを配布する。

4. 住民と行政の協働体制構築

住民が気軽に要望できるよう、行政の担当部局(窓口)を広報する。
住民と行政が協働して危険箇所改善を行う体制を整えることが極めて重要であり、道の点検簿(行政ではわかりにくい危険箇所の詳細な情報を住民より把握し、行政が点検簿を有効活用し、危険箇所を「3年以内に改善」を図るマネジメントシステム。改善状況はホームページで公開中)を継続促進。

道の点検簿 ～地域住民と協働した交通死傷事故削減の仕組み～

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 交通対策課長 石川 俊之

Traffic and Road Safety Division , Kanazawa Office of River and National Highway ,Ministry of Land Infrastructure and Transport

交通安全基本計画の中期的目標である「10年間で、死者数を5,000人(石川県は平成22年までに58人)以下」とするためには、死傷事故率の高い生活道路で交通事故を減らすことが極めて重要である。このため、市民団体や小中学校の児童生徒・PTAと協働制作した「自転車・歩行者交通安全マップ」の交通事故危険箇所(金沢市内208箇所)をPDCA(Plan,Do,Check,Action)マネジメントサイクルに基づき、順次改善している。

改善にあたっては、金沢河川国道事務所が主導的役割を果たし、住民参加に加え、県警、全ての道路管理者と連携し、改善状況がチェックできる「道の点検簿」を作成し、「3年以内に改善」を目標に努力している。点検簿はホームページで情報公開しており、危険箇所毎に「住民の改善提案」「管理者の3年以内改善案」「改善状況写真」「改善率」を見ることができ

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/tenkenbo>



1. はじめに

加賀百万石の城下町である金沢市は、藩政時代の趣を残している歴史文化が香る街である。それゆえ、市内には曲がりくねった道や狭小な細街路が多く存在し、朝夕の通勤時には多くの車両が渋滞を避け、抜け道を探して生活道路まで侵入している状態にある。歩行中の交通事故死者の約6割が自宅から500m以内で亡くなっているとの統計もあり、小中学生や住民が安心して通学・通行できるルートを確保することが急務となっていた。

<交通安全マップ>

平成14年度より、①行政だけではわかりにくい校区内の危険箇所を住民参加によりきめ細かく情報収集し改善する。②交通安全マップとして取りまとめることを通じて交通安全の啓発を図る。こと



写真-1
体育館で調査結果を取りまとめる中学生



図-1 制作した交通安全マップの例

を主な目的として「自転車・歩行者交通安全マップ」を制作している。(写真-1、図-1)

<道の点検簿>

自転車・歩行者交通安全マップの危険箇所を「3年以内に改善」を図り、安心して通行できる歩行者・自転車路を確保するため、金沢河川国道事務所がリーダーシップを取り、全ての危険箇所について改善状況を取りまとめている。

平成17年度より、住民参加に加え、県警、全ての道路管理者が協働し、PDCAマネジメントサイクル『計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(A

道の点検簿 <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/tenkenbo>



図-2 道の点検簿のトップページ
森本地区



図-3 危険箇所改善の一例

No.	箇所名	地元住民の改善提案	担当部局が回答した3年以内対策可能案	改善状況	担当部局	通学路
3	県道215号線、加賀八田バス停5差路	変形5差路の安全対策、地蔵前の電柱撤去。	県：電柱の移設については、道路敷地より沿線の民地に移動するため、北陸電力やNTT及び沿線住民の理解と協力が必要不可欠であり、地元町会等との調整が可能であれば今後検討したい。	未改善 ×	県道215号 県	○
4	才田～忠縄町湖南苑前バス通り	ガードレールの設置(カーブ箇所)。	市：ガードレールの設置。	改善済 ○	市道	○
7	JR線・観法寺踏切	防護柵の設置。	市：ガードレールの設置	改善済 ○	市道、市	○
17	国道159号、百坂プラザ交差点	1 歩道橋の撤去。	国：歩道橋を撤去し、横断歩道を設置。	改善済 ○	国道159号 国交省	○
		2 信号柱の移設。	警察：信号柱の移設	改善済 ○	警察	
20	弥勒町踏切	(現状) 踏切付近の幅員が狭い。踏み切りの拡幅。	県：踏切幅員は別の箇所において、JRとの協議に多くの労力・時間を要している状況である。今後長期的に改善を図っていきたい。	未改善 ×	県道201号 県、市、JR	○

図-4 「道の点検簿」の例(森本地区の抜粋)

ction)』により、確実にフォローアップを行なうとともに、改善状況がチェックできる「道の点検簿」としてホームページで情報公開している。点検簿は金沢市内208箇所の危険箇所毎に「地元住民の改善提案」「担当部局が回答した3年以内対策可能案」「改善状況比較写真」「改善率」を見ることができる。(図-2, 3, 4)

2. PDCA マネジメントサイクルによる取り組み

以下、「自転車・歩行者交通安全マップ」と「道の点検簿」の取り組み内容、PDCA マネジメントサイクル(図-5)の内容について紹介する。

2-1. 【Plan】小中学生が現地調査し交通安全マップ制作

「自転車・歩行者交通安全マップ」は、平成13年度に市民グループ(NGO)「地球の友・金沢※」が、「自転車が安全に気持ちよく利用できる交通ルートを金沢でも確保できないか」との考えから、市内約1,500人の高校生や地域住民の協力を得て自転車マップを制作したことからはじまった。

平成14年度からは「地球の

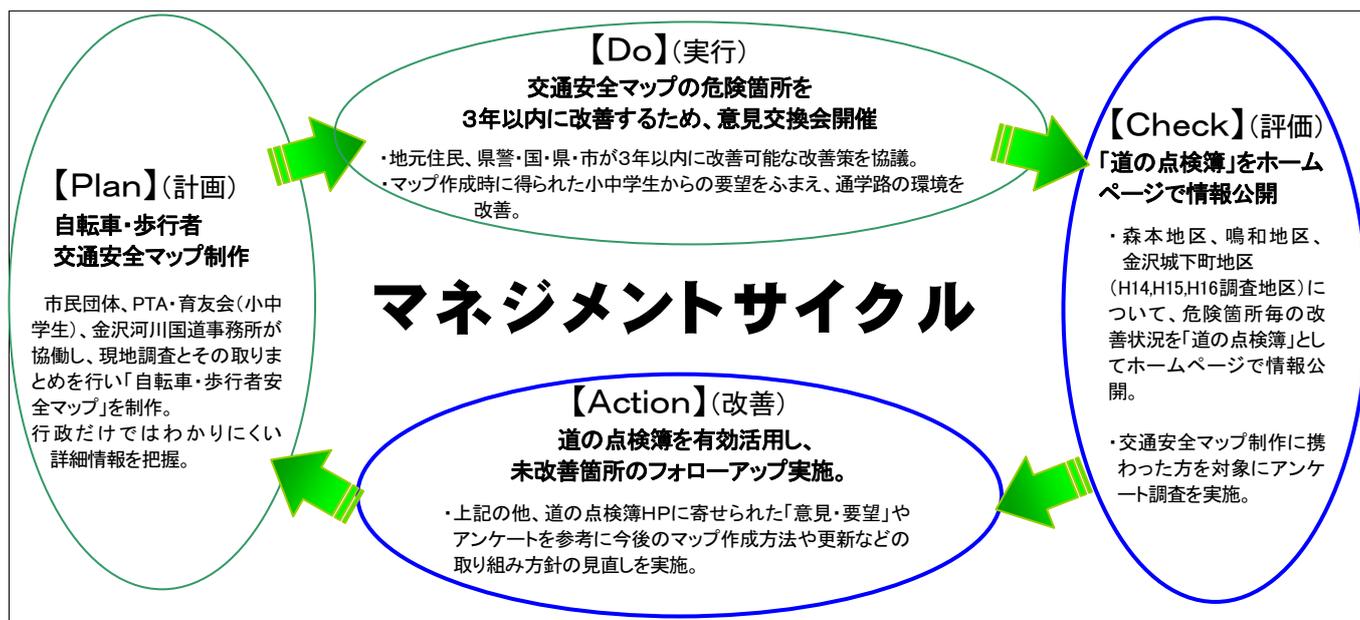


図-5 PDCAマネジメントサイクル

友・金沢」に加え、小中学校のPTA・育友会と金沢河川国道事務所が協働し、小中学生と保護者が校下の道路状況について現地調査と調査結果の取りまとめを行い(写真-1)、快適な道、安全な道、危険な道を色分けした自転車・歩行者安全マップ(図-1)を制作する活動に発展させた。

調査結果をまとめると、「歩道に段差がある」「見通しが悪い」「歩道の真ん中に電柱がある」「自転車や児童の目線に立った標識やサインが少ない」等、道路の構造や交通環境によるものが挙げられた。また、「道路が狭いのに駐車違反車両が多い」など、車や自転車の運

転者のマナーに関する問題点も多く指摘されている。

<交通安全マップ制作経緯>

- ◇H14 森本地区自転車・歩行者交通安全マップ(金沢市立森本中学校校下)
- ◇H15 なるわ環境マップ(金沢市立鳴和中学校校下)
- ◇H16 金沢城下町マップ(金沢市立小将町中学校他5校下)
- ◇H18 金沢駅西セーフティー4マップ(金沢市立長田町小学校他3校下)

2-2. 【D○】 調査結果に基づき意見交換会→危険箇所改善に反映

出来上がった交通安全マップは、制作に協力した小中学校の全生徒に配布し、交通安全の啓発に活用している。これまでの協力者は約4,500名、配布部数は15,200枚に上る。また、調査結果に基づき、地球の友・金沢、小中学校のPTA・育友会、石川県警察本部、道路管理者(国・県・市)が一同に会した意見交換会を実施している。

平成17年8月4日の意見交換会(写真-2)では、PTA・育友会より、地元住民でなければわからない詳細な調査結果と改善提案について発言していただき、行政側が対策等について回答すると



写真-2 意見交換会の状況



写真-3 改善箇所の一例

通学路の変更等に伴い、利用者がほとんどいない横断歩道橋の橋脚が歩道利用者の支障となっていたため、横断歩道橋を撤去し、歩行空間の改善を図った。

いう進め方で意見交換を行い、これまでの改善状況を金沢河川国道事務所より報告した。

危険箇所の改善については3年以内を目標に、緊急に対策が必要な箇所や対策可能な箇所から順次改善していくこととした。一方、諸般の事情ですぐには対策が困難な箇所については、その理由を説明し、相互理解を深めた。

2-3. 【Check】改善状況等をまとめた「道の点検簿」をホームページで情報公開

平成17年度は、交通安全マップを制作ただけで危険箇所を放置するのではなく、危険箇所改善に重点を置いた。県警、道路管理者（国・県・市）が危険箇所毎に回答した「3年以内の改善案」と「現在の改善状況」をまとめた「道の点検簿（改善状況チェック簿）」を作成し、ホームページで情報公開した他、交通安全マップ制作の中心的メンバー75名を対象に「マップ作成や危険箇所改善の今後の進め方」「交通安全意識の変化」「行政への意見要望」などをアンケート調査した。

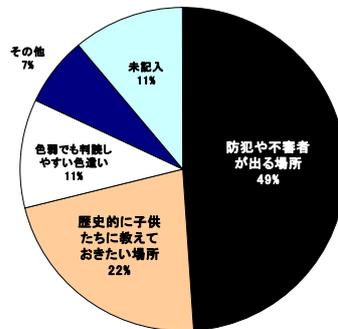
2-4. 【Action】未改善箇所のフォローアップ実施

今後とも道の点検簿を有効活用し、未改善箇所のフォローアップを行い、早期改善を図るとともに、ホームページやアンケートに寄せられた「不審者出没地点を記載」「色覚障害者にもわかりやすい

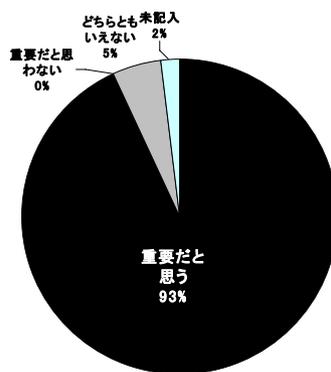
色彩に改善すべき」などのご意見・ご要望なども参考に、交通安全マップの取り組み方針を決定したいと考えている。

【アンケート結果の一部】

<Q:交通安全マップの改善点>



<Q:住民と行政の協働>



3. まとめ

道の点検簿は有効なマネジメント手法

悲惨な交通死傷事故を1件でも減らすためには、①地域住民と協働し、行政だけではわかりにくいきめ細かな危険箇所情報を把握すること。②関係する行政機関が具体的な目標を持って計画的に改善すること等が極めて重要である。

また、③地域住民が望む改善提案を踏まえ、関係機関が危険箇所の改善計画を立案し、危険箇所の改善状況が随時チェックできる仕組みである「道の点検簿」は、有効なマネジメント手法だと考えて

いる。

4. おわりに

行政は善意に頼らず、ビジョンのもとで市民と協働すべき

これまでの道路行政においては、市民団体とどのようにつきあっているかがわからず戸惑ってしまう傾向があった。しかし、今回の協働でその悩みは払拭されたように思う。

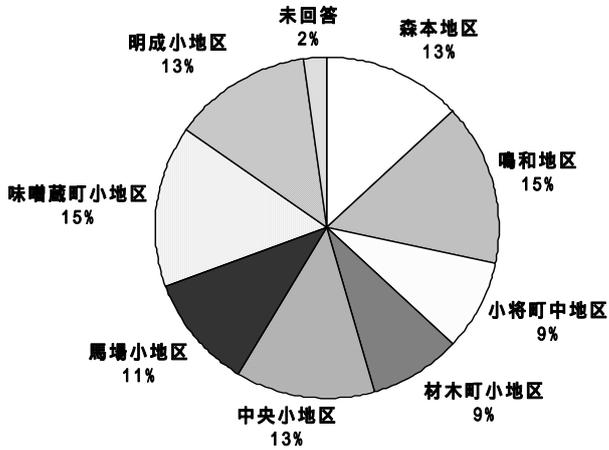
市民団体「地球の友・金沢」からは、「住民は、行政に甘えるのではなく、私たち自身が行政サービスや市政に関心を持つ必要があるということ認識しなければならない」「行政はボランティアの善意に頼るのではなく、ビジョン（目標）のもとで市民との協働事業や、市民が関わりやすい環境を用意すべき」という積極的な声が聞かれた。

行政もこのようなスタンスで住民と協働することで、より多くの住民に同様の考え方が広まり、行政と住民の信頼感増大、スムーズで効率的な行政、安全で住み良いまちづくりが可能となると思われる。

おわりに、協力していただいた「地球の友・金沢」、金沢市各校下の小中学校「PTA・育友会」及び、関係機関の皆さまにこの場を借りて深く感謝申し上げます。

※ 「地球の友・金沢」は主に「交通と環境」を中心に市民運動を展開。自転車利用環境向上に向けた取り組みを行っている市民団体（NGO）である。「道の点検簿」の取り組みの他、Co2削減に向けた「2006Ecoサイクルプロジェクト」にも積極的に取り組んでいる。

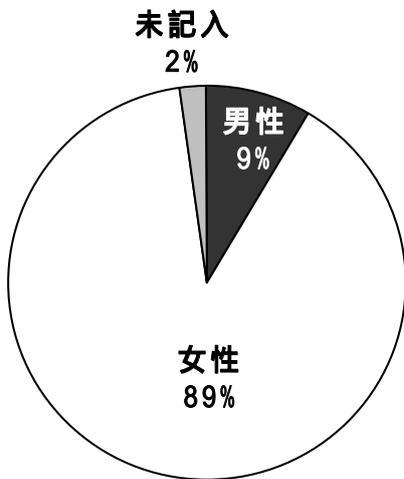
居住地区



地区名	アンケート記入者数
森本地区	6
鳴和地区	7
城下町地区	
・味噌蔵町小地区	7
・中央小地区	6
・明成小地区	6
・材木町小地区	4
・馬場小地区	5
・小将町中地区	4
未記入	1
合計	46

(人)

性別



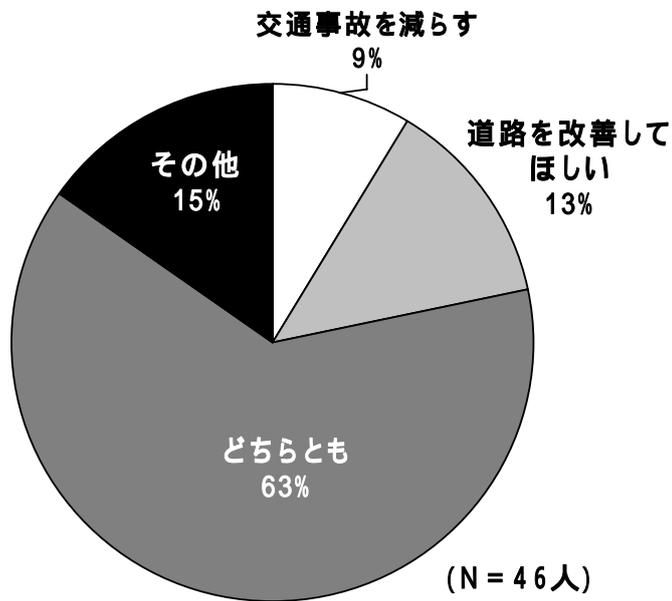
地区名	男性	女性
森本地区	0	6
鳴和地区	2	5
城下町地区		
・味噌蔵町小地区	0	7
・中央小地区	0	6
・明成小地区	0	6
・材木町小地区	1	3
・馬場小地区	1	4
・小将町中地区	0	4
合計	4	41

(人)

女性が89%。男性が9%、未記入は2%

1. どんな目標・目的を持って自転車・歩行者安全マップ作成に取り組みましたか？

選択肢 交通事故を減らす 道路を改善してほしい どちらとも その他



「交通事故を減らす」が9%、「道路を改善してほしい」が13%、「どちらとも」が63%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
交通事故を減らす	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
道路を改善してほしい	3	1	0	1	0	1	0	0	0	6
どちらとも	3	4	5	4	4	1	4	3	1	29
その他・未回答	0	2	2	0	1	1	0	1	0	7

(人)

ご意見(選択回答別)

▶「道路を改善してほしい」と回答した方のご意見

女性	回答:道路を改善してほしい。
子供たちの安全。	

女性	回答:道路を改善してほしい。
子供の通学の安全性。	

▶「どちらとも」と回答した方のご意見

男性	回答:どちらとも
子供の安全を目標に親の意思の向上を目指した。	

女性	回答:どちらとも
安全な道とその反対な道を知りたい。	

男性	回答:どちらとも
子どもの通学路の安全・地域の交通環境を知るため。	

女性	回答:どちらとも
自分以外の地域の方がどうやって住んでいるか。	

女性	回答:どちらとも
毎日の通学路のことなので、より安全に登下校してもらえれば。	

女性	回答:どちらとも
子供の安全。自転車に乗ることが多いので。	

女性	回答:どちらとも
子供の安全。	

女性	回答:どちらとも
住民の安全。	

女性	回答:どちらとも
・地球温暖化対策で車に乗らない様にするためにも、自転車、歩行者の利用しやすい道路にすべき。	

女性	回答:どちらとも
・障害を持つ方や老人の比較的多い地区なので常に危険を感じます。	

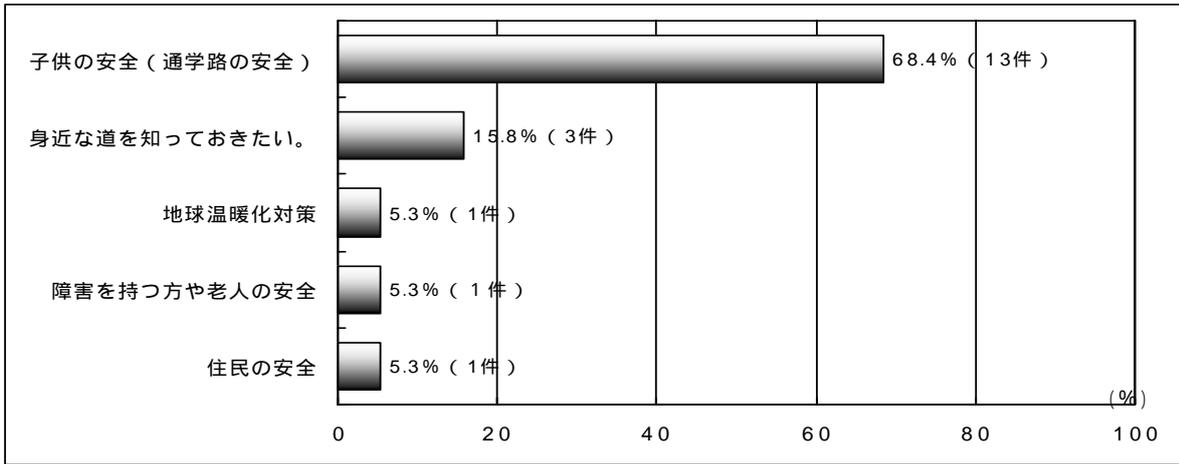
続く 

ご意見(選択回答別)

▶「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
子供たちの通学区域の情報を知りたい。	
女性	回答:その他
校区内通学路の安全のため。	
女性	回答:その他
身近な道を正しく知っておきたかったから。	
女性	回答:その他
子供の安全(交通面と防災面)。	
女性	回答:その他
子供の安全。	
女性	回答:その他
・安全性を知りたい。	

選択回答以外に記入された目標・目的

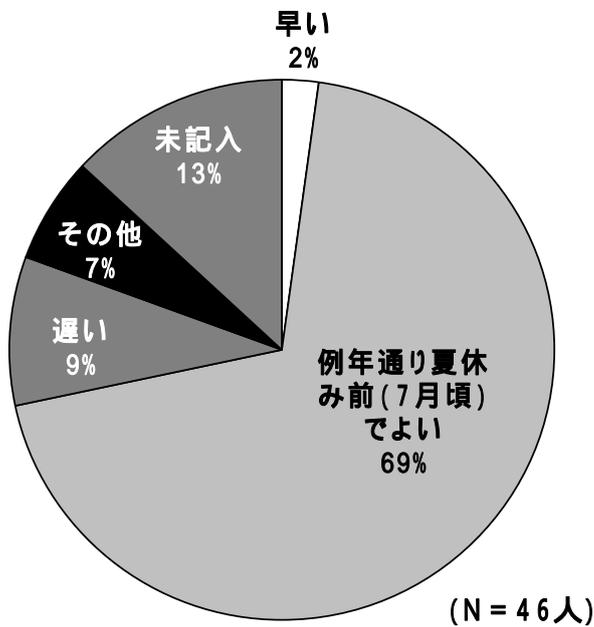


まとめ

・「交通事故を減らす」が9%、「道路を改善してほしい」が13%であったが、「どちらとも」との答えが63%であった。

・子供の安全(通学路の安全)と回答された方が多数おられた。

2. 制作を開始する時期は、どうですか？
 選択肢 早い 例年通り夏休み前(7月頃)でよい 遅い その他



「例年通り夏休み前でよい」が69%、「早い」が2%、「遅い」が9%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
早い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
例年通り夏休み前(7月頃)がよい	2	6	7	4	4	4	2	2	1	32
遅い	1	0	0	1	0	0	2	0	0	4
その他・未回答	3	1	0	1	2	0	0	2	0	9

(人)

続く →

ご意見(選択回答別)

▶ 「例年通り夏休み前(7月頃)がよい」と回答した方のご意見

女性	回答:例年通り夏休み前(7月頃)がよい
この活動をもっと広く、多くの人に知ってもらい、新学期を少しすぎたころにご意見をいただき、夏休みの前ごろから開始して頂けたらと考えます。	

女性	回答:例年通り夏休み前(7月頃)がよい
夏休み中は子供を自宅においてこなくてはいけないのでやめてほしい。	

女性	回答:例年通り夏休み前(7月頃)がよい
学校の行事が夏休み以降に多いので、夏休み前の方が時間がとりやすい。その後の改善場所の写真撮影も、気候の良い秋頃になるので、やりやすかった。反面、7月に開始するには、4月以前から学校や育友会と話し合う機会が必要で、4月に人事が変わるとまた一から説明し直さないといけなくなる。	

女性	回答:例年通り夏休み前(7月頃)がよい
夏休みを使ってやると気持ちとして余裕がもてる。	

▶ 「遅い」と回答した方のご意見

女性	回答:遅い
出来るだけ早い時期に危険場所等1年生にも知らせれば良い。	

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
途中参加でしたので、わかりません。	

女性	回答:未回答
途中参加でわからない。	

男性	回答:その他
思いついたらすぐ行い、2~3年かかってもかまわない。	

女性	回答:その他
わかりません。	

まとめ

・制作開始時期は夏休み前がいいという答えが大半を占めていた。この理由として、夏休み前の方が時間に余裕を持てる、夏休み後に学校の行事がたくさんあり、動きにくくなるとの理由が上げられている。

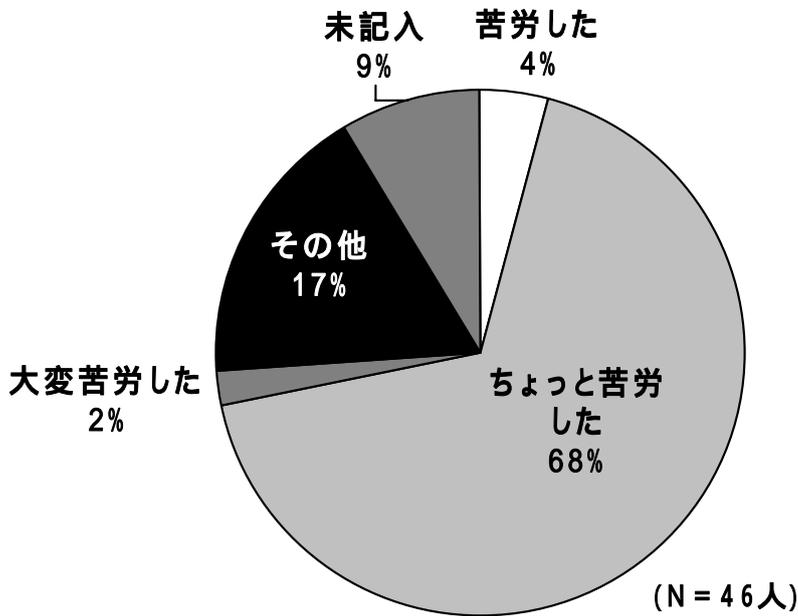
・もっと早く作業に取りかかりたいという方は少人数いるが、もっと遅い時期に作業をしたいという答えはなかった。



・例年通り夏休み前(7月頃)の作業が、一番好ましいと思われる。

3. 調査で苦労したところはありましたか？

選択肢 苦労した ちょっと苦労した 大変苦労した その他



「大変苦労した」が2%、「ちょっと苦労した」が68%、「苦労した」が4%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
苦労した	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ちょっと苦労した	4	3	7	4	2	4	4	3	0	31
大変苦労した	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
その他・未回答	2	2	0	2	3	0	1	1	1	12

(人)



ご意見(選択回答別)

▶ 「苦労した」と回答した方のご意見

女性	回答:苦労した
・簡単なお手伝いしかしていません。	

▶ 「ちょっと苦労した」と回答した方のご意見

女性	回答:ちょっと苦労した
・いろいろな意見を一つにまとめる細かい作業。	

女性	回答:ちょっと苦労した
・地図が細かく、同じ道に何本ものチェックが入り見づらかった。	

女性	回答:ちょっと苦労した
・実際、私自身は苦労してないけれど、安全マップを作りたいから、子供達の意見をと協力を求める為、学校に話してもなかなか理解してもらえなかった所(新しい事をする時はなかなか出るくぎは打たれるようです)。	

女性	回答:ちょっと苦労した
・集まっている(多くの保護者)時、夏休みにもっとうまく仕事を分担して、効率よくもっと進めた方が良かった。	

女性	回答:ちょっと苦労した
集計する時(アンケートの量がすごく多かったから)。危険箇所のチェック。	

女性	回答:ちょっと苦労した
自分の個人的な具合で、チェックポイントを選んでいないか？	

女性	回答:ちょっと苦労した
味噌蔵校下は昔からの道路で、細くて曲がっていて当たり前なので、どの辺りまで指摘してよいのか迷いました。	

女性	回答:ちょっと苦労した
子供に日々行動している範囲に対し、危険か否かという判断が各々(子供)に差があったのを見分ける点、(危ない、危なくないと言うのに個人差が多かった)。	

女性	回答:ちょっと苦労した
あまり通ったことのない道は調査しにくかった。	

女性	回答:ちょっと苦労した
初めてのことで要領が分からなかった点。	

続く 

ご意見(選択回答別)

女性	回答:ちょっと苦労した
グループの子供たちの危険箇所の認識が少しずつ違っており、まとめるのにちょっとだけ苦労しました。	
女性	回答:ちょっと苦労した
時間のやりくり(仕事があるので)、どんな具合に危険かということ表現するのが難しかった。改善案がうまく考えつかなかった。	
女性	回答:ちょっと苦労した
早朝に子ども達の通学の様子を見るのが大変。	
女性	回答:ちょっと苦労した
時間がかかる。	
女性	回答:ちょっと苦労した
自分で通らない所などはあまり分からなかった。	
女性	回答:ちょっと苦労した
大人からみると危険と思われる場所も、子供にとってはそうでもなく、道路の色を赤にしようか緑にしようか迷うことがあった。	
女性	回答:ちょっと苦労した
交差点が多くて。	
男性	回答:ちょっと苦労した
大人の見方と子どもの見方の違いの表現。	
女性	回答:ちょっと苦労した
細い道路が多く住宅地の為、道幅を広げる等難しい上、広い道路が従来の細い道を寸断している為、非常に複雑な問題有り。	
女性	回答:ちょっと苦労した
自分が通ったことのない道を地図に書きこむ時。	
男性	回答:ちょっと苦労した
人の協力。	
女性	回答:ちょっと苦労した
危険箇所をひろいあげるのが、なれるまで要領がわからず、苦労した。	


 続く

ご意見(選択回答別)

女性	回答:ちょっと苦労した
はっきりしない部分があり、どう判断するか迷った。	

女性	回答:ちょっと苦労した
記入の時間がもう少し長ければ、もっと情報が増えたと思う。	

▶ 「大変苦労した」と回答した方のご意見

男性	回答:大変苦労した
特定の人に作業が集中した。	

男性	回答:大変苦労した
520枚の地図と780人分のデータをもとに、1枚の地図を仕上げる集計作業。	

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
なし。	

女性	回答:その他
どうしたら改善できるかが難しいところや、交通量が時間によってちがい、何度も見に行ったところ。	

女性	回答:その他
子ども達のがんばりに拍手です。	

女性	回答:その他
ありません。	

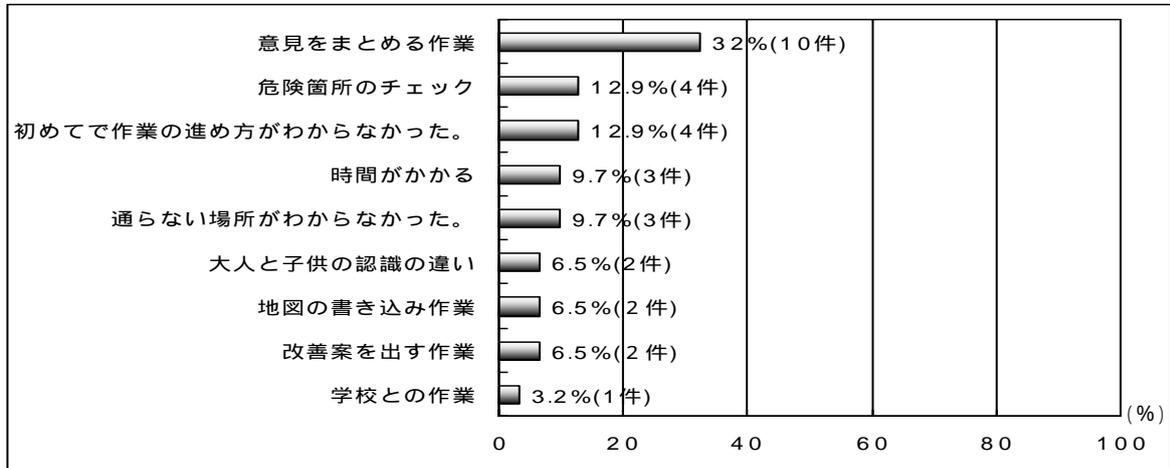
女性	回答:その他
集計のお手伝いのみだったためよくわからない。	

女性	回答:その他
中学生からの調査。	

女性	回答:その他
苦労した点はありませんでした。1年生・2年生が自分たちが通う学校・塾などで危険だと思った所とか良い所を書いてくれました。	


 続く

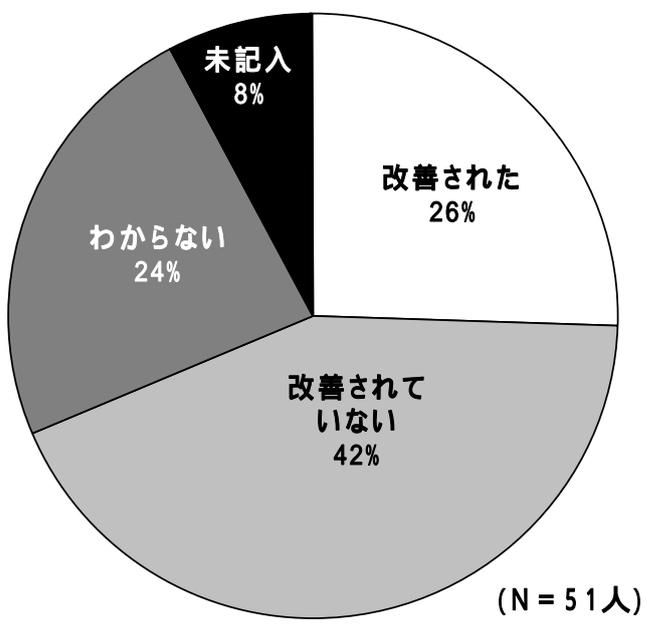
苦勞した作業



まとめ

- ・「ちょっと苦勞した」が68%を占めた。
- ・児童が書き込んだ意見をまとめる作業が苦勞したという意見が多くあった。これは、児童に対し、保護者の協力者が少ないため負担となったと考えられる。
- ・児童と保護者の間で危険度に認識のズレがあり、危険か安全かの判断が難しいことがわかった。また、児童間でも危険度の認識に違いがあった。
- ・初めての作業で「何をすればいいかわからなかった」という答えもあった。

4. 調査した「危険箇所」は、現在どうなっていますか？ また、その「危険箇所」はどこですか？
 選択肢 改善された 改善されていない 分からない



「改善された」が26%、「改善されていない」が42%、「わからない」が24%であった。

地区別・選択回答数										
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
改善された	5	3	2	2	1	0	0	0	0	13
改善されていない	2	2	4	3	3	3	4	1	0	22
わからない	0	1	1	2	2	1	2	3	0	12
その他・未回答	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4

(人)



ご意見(選択回答別)

▶ 「改善された」と回答した方のご意見

女性	回答:改善された
森本地区の百坂プラザ・観法寺踏切。	
女性	回答:改善された
電灯と横断歩道をつけて頂きました。ありがとうございます。	
女性	回答:改善された
神宮寺イトーピアマンション前。	
女性	回答:改善された
改善された所もあるが、まだの所もある。	
女性	回答:改善された
長町の用水沿い。	

▶ 「改善されていない」と回答した方のご意見

女性	回答:改善されていない
森本地区3、県道215号線、加賀八田バス停5差路。	
女性	回答:改善されていない
改善されていないところが多いと思う。	
女性	回答:改善されていない
元町、京町、浅野本町、昌永町。	
女性	回答:改善されていない
改善された箇所もあり、未だ改善されていないところもあり・・・です。	
女性	回答:改善されていない
大手町東信号(シティモンド横)歩道がせまく、ガタガタ。電柱が多すぎる!	
女性	回答:改善されていない
兼中裏の川沿い、旭町の側溝。	
女性	回答:改善されていない
主計町。	

続く



ご意見(選択回答別)

女性	回答:改善されていない
鈴見団地内交差点。	
女性	回答:改善されていない
兼六大通りの歩道のストップマーク等は?1ヶ所ペイントが増えていた様です。他の場所はいつ?	
女性	回答:改善されていない
部分的に改善されていない。じゃまなカーブミラーが撤去されていた。	
女性	回答:改善されていない
長町。	
女性	回答:改善されていない
北国銀行笠市支店西側。	

▶ 複数回答の方のご意見

女性	回答:改善された 改善されていない
マンホールが改善された。しかし、まだまだ危険なところが多くある。天神高架下、精肉店前の歩道スペース(特に自転車のスペースがない)。	
女性	回答:改善された 改善されていない
泊団地、南森本旧街道は改善された。森中バス路線側道路(12.13)は改善されていない。	
女性	回答:改善された 改善されていない
改善された箇所もある。	
女性	回答:改善されていない わからない
丸井宅角。	

▶ 「わからない・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:わからない
明成地区に関しては改善されている箇所はあるが、中央小については改善されたかわからない(明成としてお手伝いしたから?)。	
女性	回答:わからない
難しい場所なのかもしれません。	
女性	回答:未回答
集計のお手伝いのみだったためよくわからない。	


 続く

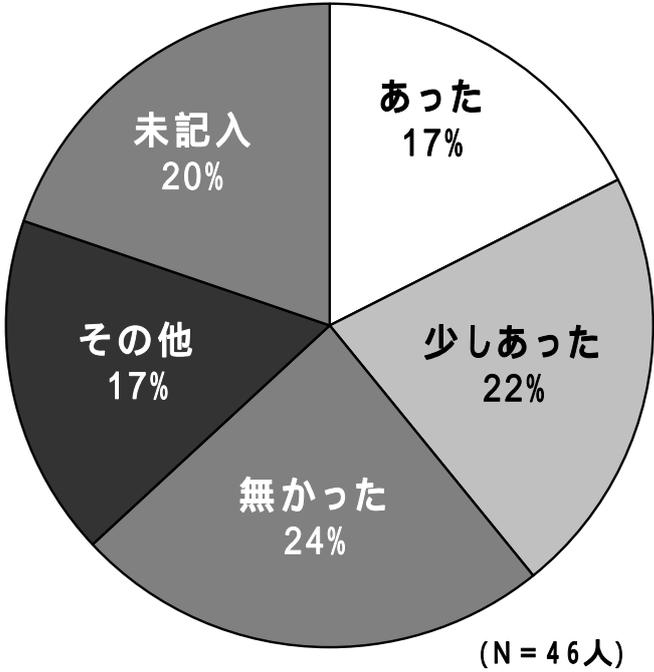
まとめ

・「改善された」が26%、「改善されていない」が42%と、危険箇所が改善されていないと思う人が約半数を占めた。

・特に材木町小地区・馬場小地区・小將町地区の人に関しては、改善されたと思う人はいなかった。

・住民は早急な危険箇所改善を求めており、危険箇所が思ったより改善されていないと評価している。

5. 行政機関(国、県、市、警察)の協力はありましたか？
 選択肢 あった 少しあった なかった その他



行政機関の協力が「あった」「少しあった」が39%となった。協力が「無かった」が24%となった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
協力があった	2	5	1	0	0	0	0	0	0	8
少しあった	2	1	2	1	1	1	1	1	0	10
協力がなかった	0	1	2	3	1	1	3	0	0	11
その他・未回答	2	0	2	2	4	2	1	3	1	17

(人)

続く →

ご意見(選択回答別)

▶ 「協力があった」と回答した方の協力内容

男性	回答:協力があった
地図の印刷、危険ポイントの改善。	

女性	回答:協力があった
熱心に話を聞いたり、働きかけたりしてくれた(他の行政に)。	

女性	回答:協力があった
センターラインの引き直し、道路標識の設置。	

▶ 「協力が少しあった」と回答した方の協力内容

女性	回答:少しあった
今後検討したい。	

女性	回答:少しあった
話を聞いてくれた。	

女性	回答:少しあった
シティモンド前の植え込みはなくなった。	

女性	回答:少しあった
プレゼンの準備をしてくれた。	

女性	回答:少しあった
調査後に話し合いの場をもってくれた。	

女性	回答:少しあった
一部改善して頂いたから。	

▶ 「協力がなかった」と回答した方の協力内容

女性	回答:協力がなかった
実際に見に来て頂いて確かめてもらいたい。	

続く



ご意見(選択回答別)

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
! ?	

女性	回答:その他
地図の危険箇所を記入しただけのお手伝いだったので、その前後に協力があったかはわからない。	

▶ 行政機関に協力してほしいこと

女性	回答:なかった
今後検討したいとはいつなのか? 具体的な時期を知らせてほしい。	

女性	回答:あった
自分の足で歩いたり、自ら運転してほしい。	

男性	回答:あった
施設や道路を増やしたり、直したりする事も大切だが、現在ある設備をうまく現状に合わせて活用する。例えば右折信号の時間について現地で調査してほしい。	

女性	回答:あった
保護者や子どもたちが危険と感じているところばかりなので、もう少し早く対応してほしい(未改善の改善など)。	

女性	回答:その他
たらい回しみたいな気がします。	

女性	回答:少しあった
大手町東信号(シティモンド横)歩道が狭くガタガタ。電柱が多すぎる。歩道を広く通りやすくしてほしい。	

女性	回答:その他
改善場所を担当の行政機関の方と実際にみてまわり、改善内容の確認や検討を一緒に考えていけたら良いと思いました。また、改善後の報告をして欲しい。改善されている箇所は自分達の提案によるものなのかどうか、いつの間に改善されていたのかと思うことがありました。	

女性	回答:少しあった
危険箇所を実際に歩いてチェック。	

女性	回答:なかった
信号機の場所。	

女性	回答:少しあった
大がかりな改善ではなく、ペイント、ミラー等からでも改善して欲しいです。	


 続く

まとめ

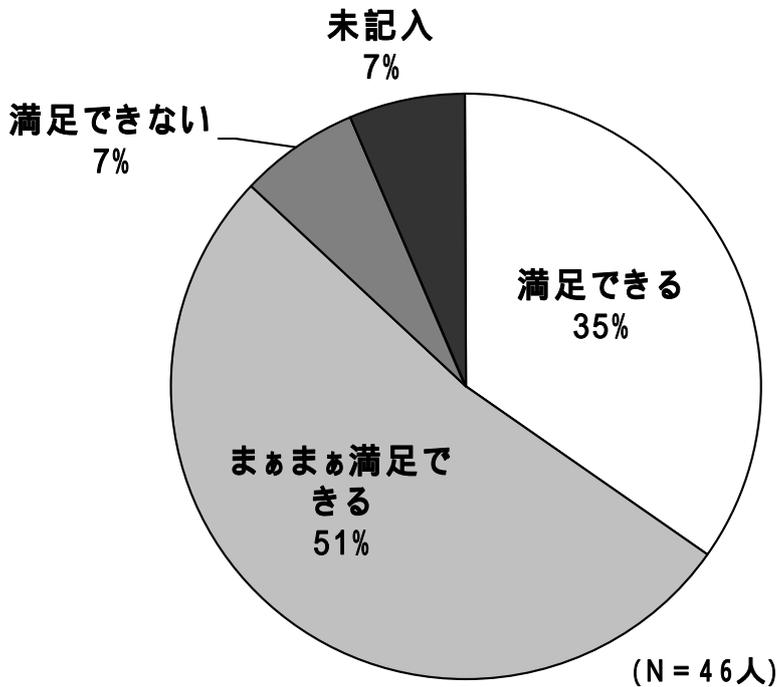
・行政機関からの協力が「あった」が17%、「少しあった」が22%、「無かった」が24%となった。

・「行政機関に危険箇所を実際に見てもらいたい。一緒に見て回りたい」という意見があった。

・「もっと早めに対応をしてもらいたい」という意見があった。住民は行政の素早い対応を求めている。

6. 完成した自転車・歩行者安全マップは、全体的に満足の出来るものでしたか？

選択肢 満足できる まぁまぁ満足できる 満足できない その他



「満足できる」「まぁまぁ満足できる」という答えがあわせて86%と大半を占めている。
 「満足できない」は7%にとどまった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
満足できる	2	5	3	1	2	1	1	1	0	16
まぁまぁ満足できる	2	2	4	3	4	3	2	3	1	24
満足できない	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3
その他・未回答	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 自転車・歩行者安全マップで満足できたところ

女性	回答:満足できる
調査したかいがあったところ。	

女性	回答:満足できる
自分でも意識して歩けるようになった。	

男性	回答:満足できる
子供たちの意見が盛り込んでいる。	

女性	回答:満足できる
調査した通りのマップに仕上がったと思う。	

男性	回答:満足できる
危険箇所が分かりやすい。子ども110番の家が分かりやすい。	

女性	回答:満足できる
細かいところまで書きこんであり、良いマップになったと思う。	

女性	回答:満足できる
写真がカラーで分かりやすい。一目でどの場所が分かる。	

女性	回答:満足できる
細かい所まで作業が行き届いていた。	

女性	回答:満足できる
写真付きで子供が見ても理解でき、わかりやすい。	

女性	回答:満足できる
細かい所まで表されている。	

女性	回答:満足できる
自分の知らないキケンな場所もわかりました。	

女性	回答:満足できる
見やすい。	


 続く

ご意見(選択回答別)

男性	回答:満足できる
子どもの目線でのキケン箇所が表示されている。	
女性	回答:満足できる
子供達、自分達が調べた所、記入した所が地図にもりこまれていて満足できました。	
女性	回答:まあまあ満足できる
森本地区は広いのに上手に地図にまとめられている。	
女性	回答:まあまあ満足できる
思っていた以上に丁寧に出来上がっていた。	
女性	回答:まあまあ満足できる
色分けしてあって分かりやすい。	
女性	回答:まあまあ満足できる
子供たちにとって、理解しやすい表現になっている。	
女性	回答:まあまあ満足できる
丁寧に仕上がっている。	
女性	回答:まあまあ満足できる
見やすく、分かりやすい。中学校の範囲まで分かるので、小学校6年の子供達の参考になった。	
女性	回答:まあまあ満足できる
色わけしてある所。	
女性	回答:まあまあ満足できる
これを作った事で親も子も安全に興味が出た。	
女性	回答:まあまあ満足できる
とても見やすく、校下が一目でみえる。	
女性	回答:未記入
OBとして協力させていただいたので活用状況などはわかりません。	

続く



ご意見(選択回答別)

女性	回答:まああ満足できる
危険な道と安全な道がわかる。	

女性	回答:まああ満足できる
子ども達の意見が反映されているので良かった。	

女性	回答:まああ満足できる
子供たちが危険箇所を自覚したところ。	

女性	回答:未記入
OBとして協力させていただいたので活用状況などはわかりません。	

▶ 自転車・歩行者安全マップで満足できないところ

女性	回答:満足できない
マップそのものには、まああ満足ですが、活用がもっともとなされてもいいはず。小学校・中学校・高校 - の取り組み方がばらばらです。市の教育委員会等でもっと真剣に活用するように指導はできないものですか？	

女性	回答:まああ満足できる
広範囲なので主要道路が主になりがち。安全と快適な道の区別は一緒にしてもいいのでは。	

女性	回答:満足できる
誤字が多かった。	

男性	回答:満足できる
誤字が多かった(新潟の印刷会社の為か、星稜 星陵×のまちがひ。町の名、施設の名)。	

女性	回答:満足できる
もう少し見やすくなればと思う。	

女性	回答:まああ満足できる
手伝った私達はよく分かるけれど、あのマップをもらっただけではあまり意味がないかも。	

女性	回答:まああ満足できる
なんとなくもっと見おとしている所があると思えた。	

続く



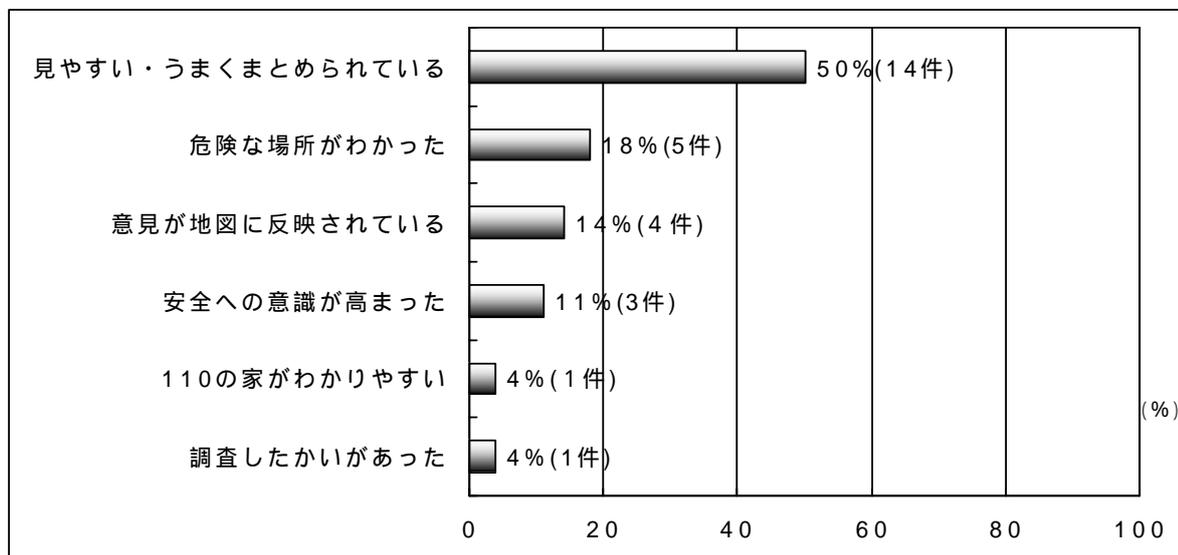
ご意見(選択回答別)

女性	回答:まああ満足できる
学校、幼稚園、お寺などは地図に書いてあるが、もう少し、お店の場所などが書いてあればどの道が分かりやすい。無理かな？	
女性	回答:まああ満足できる
自分たちの思いと違う点もあった。	
女性	回答:満足できない
自宅のまわりに危険箇所があるかだけ見て、あとは利用していない。	
女性	回答:未記入
OBとして協力させていただいたので活用状況などはわかりません。	
女性	回答:まああ満足できる
調査後、警察からの「110番の家」の場所が10ヶ所近く増えていた。警察で見直しをしたようだが、地図にどのように追加していいのか困っている。	
女性	回答:まああ満足できる
自分の知らない道路はわからない。子どもの目線でのキケン箇所が表示されている。	
男性	回答:満足できる
良いところをもっと多くあるといいですね。	
女性	回答:まああ満足できる
3年計画等でも継続して見ていけるシステムがない。	
女性	回答:まああ満足できる
あまり活用出来ていない。	
女性	回答:満足できない
もう少し人の協力を持って良いものを作りたかった。	
女性	回答:まああ満足できる
なるべく早く改善。	

続く



満足できるところ



まとめ

・「満足できる」が35%、「まあまあ満足できる」が51%となり、大半の方が満足していると言える。

・満足できる点として、「見やすい、うまくまとめられている。」という内容が14件で最も多く、次いで「危険な箇所がわかった」が5件となっている。

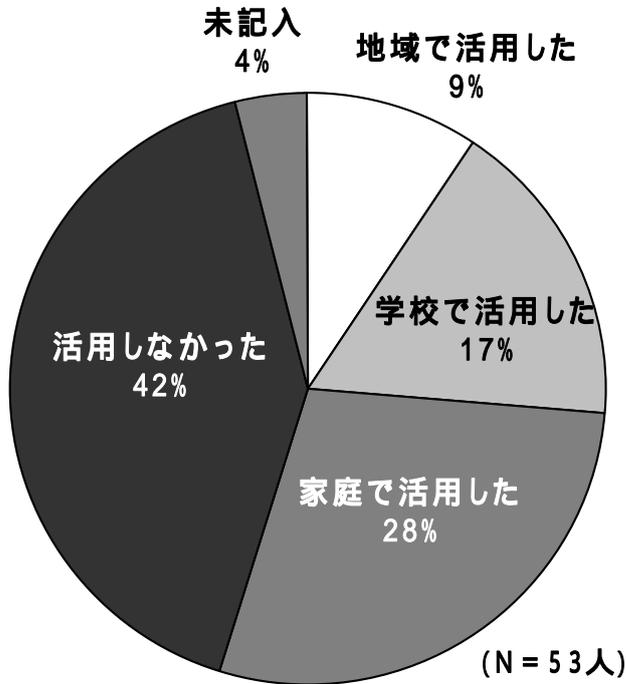
・「満足できない」が7%であり、「あまり活用されていない。」「誤字が多い。」などの意見があった。



・地図上の誤字は印刷段階(校正時)にもっと確認することが必要。

7. 自転車マップを活用しましたか(地域で・学校で・家庭で)？

選択肢 地域で活用した 学校で活用した 家庭で活用した 活用しなかった



「地域で活用した」が9%、「学校で活用した」が17%、「家庭で活用した」が28%、「活用しなかった」が42%となった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
地域で活用した	1	2	0	0	1	1	0	0	0	5
学校で活用した	1	4	1	0	1	1	0	1	0	9
家庭で活用した	3	1	3	1	2	0	1	3	1	15
活用しなかった	2	2	2	4	4	3	4	1	0	22
その他・未回答	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「地域で活用した」と回答した方のご意見

女性	回答:地域で活用した。
公民館で説明会。	

▶ 「学校で活用した」と回答した方のご意見

男性	回答:学校で活用した。
中学校では活用していないが、小学校で地域学習で使った。	

女性	回答:学校で活用した。
子供と父兄で話し合った。	

▶ 「家庭で活用した」と回答した方のご意見

女性	回答:家庭で活用した。
地図として、安全な道はどこかなど。	

女性	回答:家庭で活用した。
家族に知らせた。	

女性	回答:家庭で活用した。
買い物に出掛ける前に。	

女性	回答:家庭で活用した。
家族で出掛ける際、マップで見ていた所を“ここだね”と言いながら走った。	

女性	回答:家庭で活用した。
子供と一緒に危険なところを確認した。	

女性	回答:家庭で活用した。
サイクリングで利用。	

女性	回答:家庭で活用した。
子供と安全確認。	

女性	回答:家庭で活用した。
危険箇所のチェックをした。	


 続く

ご意見(選択回答別)

女性	回答:家庭で活用した。
自転車をよく出掛けるので。	

▶ 「活用しなかった」と回答した方のご意見

女性	回答:活用しなかった。
自動車が生活の主流で歩くことないので。	

女性	回答:活用しなかった。
普段から利用している道路なので、マップを見なくても状況がわかっていたから活用する機会がなかった。	

女性	回答:活用しなかった。
具体的には活用してませんが、地図をみて、キケン箇所を確認しています。	

▶ 複数回答の方のご意見

女性	回答:学校で活用した。家庭で活用した。
全校保護者対象に参加を募り、説明・意見交換をした。	

女性	回答:学校で活用した。家庭で活用した。
全校保護者対象に参加を募り、説明・意見交換をした。	

男性	回答:地域で活用した。学校で活用した。
危険箇所の検討会。110番の家がどこにあるかいくつか回ってみた。	

女性	回答:地域で活用した。学校で活用した。
不審者が出るようになり、このマップを利用しチェックした。	

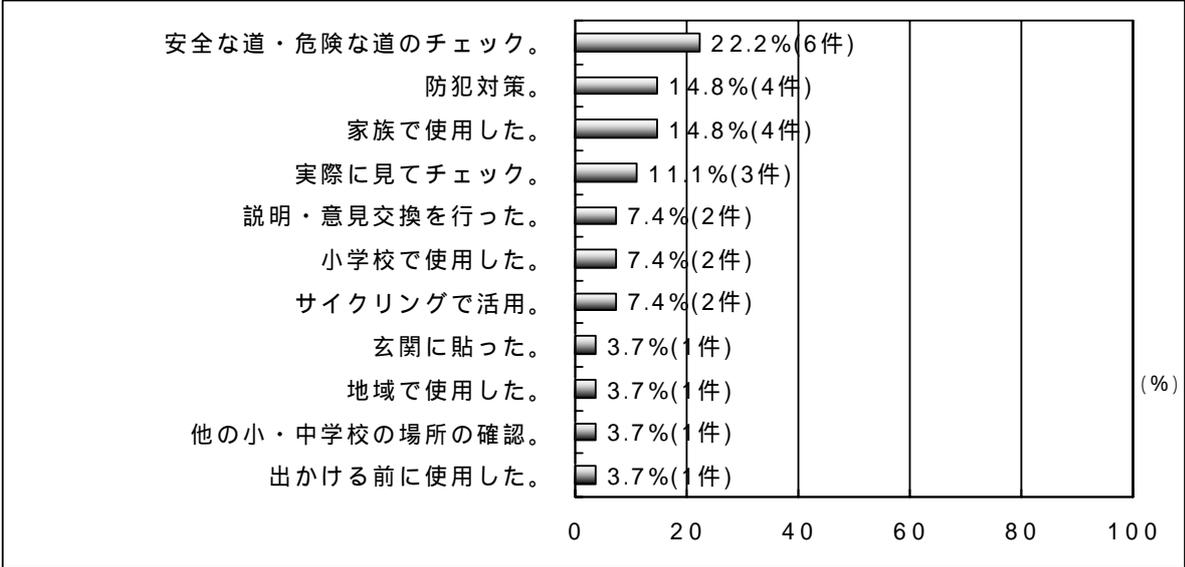
女性	回答:地域で活用した。学校で活用した。家庭で活用した。
地域のお年寄りの方達の交通安全教室に使って頂いた。学校の防犯パトロールの時にも使用した。他の小・中学校の場所の確認ができた。	

女性	回答:地域で活用した。学校で活用した。
学校の安全指導等で使用されています。(防犯等でも) 今、子供たちに防犯地図を作らせる計画があり、そのベースとして使用されている様です。	

女性	回答:学校で活用した。家庭で活用した。
マップを使って、交通安全指導を行った。実際に危険な道を子どもと通行した。	


 続く

自転車マップの利用方法



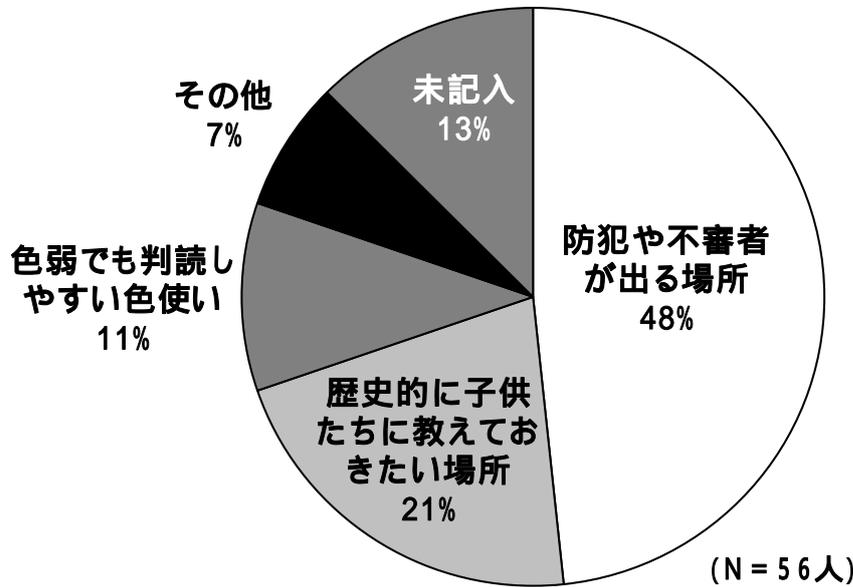
まとめ

・自転車マップを活用された方が54%に対し、活用しなかったが42%で、約半数の方しか活用されていないことがわかった。

・家庭の中ではサイクリングや子供たちとの危険箇所のチェックで使用されている。地域や学校では危険箇所の話し合い、防犯対策で使用されている。

8. 自転車・歩行者安全マップに新たに追加したい内容や改善点がありますか？

選択肢 防犯や不審者が出る場所 歴史的に子供たちに教えておきたい場所 色弱でも判読しやすい色使い その他



防犯や不審者が出る場所が48%、歴史的に子供たちに教えておきたい場所が21%、色弱でも判読しやすい色使いが11%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
防犯や不審者が出る場所	4	2	6	4	3	2	2	3	1	27
歴史的に子供たちに教えておきたい場所	2	2	1	1	1	2	1	2	0	12
色弱でも判読しやすい色使い	1	1	1	1	0	0	0	2	0	6
その他・未回答	2	4	1	0	2	0	2	0	0	11

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「防犯や不審者が出る場所」と回答した方のご意見

女性	回答:防犯や不審者が出る場所。
安心の面から不審者情報ものるとよいと思います。	

▶ 「歴史的に子供たちに教えておきたい場所」と回答した方のご意見

男性	回答:歴史的に子供たちに教えておきたい場所。
一方通行路やバス停など。	

▶ 複数回答の方のご意見

女性	回答:防犯や不審者が出る場所。歴史的に子供たちに教えておきたい場所、色弱でも判読しやすい色使い。
危険箇所がどこの道か分かりにくい。	

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
110番の家。	

女性	回答:その他
事故が以前あったこと(数回)がある場所。	

女性	回答:その他
様々な情報を入れすぎると、何の地図が分からなくなるので、今のままで良いと思う。	

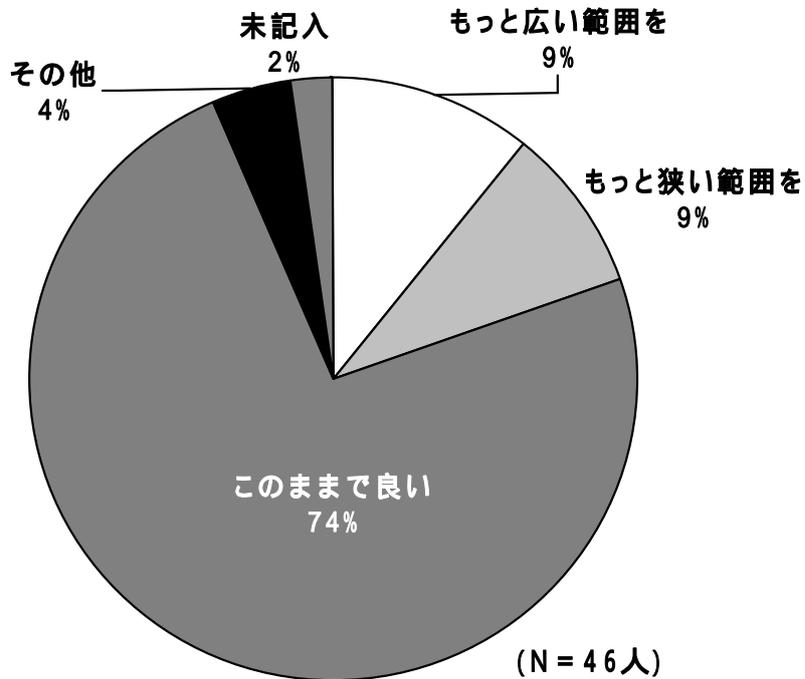
女性	回答:その他
子供110番の家。	

まとめ

- ・「防犯や不審者が出る場所」が48%、「歴史的に子供たちに教えておきたい場所」が21%、「色弱でも判読しやすい色使い」が11%であった。
- ・「防犯や不審者が出る場所」との答えが半分を占め、現在もっとも必要とされている情報であることがわかった。

9. 自転車・歩行者安全マップの範囲はどうか？

選択肢 もっと広い範囲を このままで良い もっと狭い範囲を その他



「このままで良い」という答えが74%と大半を占めた。「もっと広い範囲を」が9%、「もっと狭い範囲を」は9%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
もっと広い範囲を	1	0	3	0	0	1	0	0	0	5
このままで良い	3	5	4	5	5	3	5	3	1	34
もっと狭い範囲を	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4
その他・未回答	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「もっと広い範囲を」と回答した方のご意見

女性	回答:もっと広い範囲を
国全体で意識できる様になったら良いと思う。	
女性	回答:もっと広い範囲を
自宅が校下の端なので近隣校下(最低でも中学通学区域)を範囲にしてほしい。	
女性	回答:もっと広い範囲を
他の地域のマップができれば、その地区に出掛ける際に危険箇所が事前に把握できる。	
女性	回答:もっと広い範囲を
現状のままで良いが、通学路が他の学区内を通る子もいるので少し重複させても良いかも。	
女性	回答:もっと広い範囲を
子供が中学生、高校生になったとき自分で読んだり見たりして、注意ができると思う。	

▶ 「このままで良い」と回答した方のご意見

女性	回答:このままで良い
本当なら子ども会などで、もっと狭い範囲を念入りにチェックできたらいいですね。	
女性	回答:このままで良い
あまり広すぎても集計するのが大変。他の地域のマップも見られたらと思う。	
女性	回答:このままで良い
校区を分割して、別マップを作り、携帯できる形もあるとよいかなど。	

▶ 「もっと狭い範囲を」と回答した方のご意見

女性	回答:もっと狭い範囲を
小学校の校区の方がよりくわしく作成できるのでは。	
男性	回答:もっと狭い範囲を
小学校の校区。	
女性	回答:もっと狭い範囲を
校区内で、特に中央校区は広く、細かい道路はマップでは分かりにくいから。	
女性	回答:もっと狭い範囲を
中学校校区単位で。	


 続く

▶ 「その他・未回答」を選択した方のご意見

女性	回答:その他
他の地域のマップができれば、その地区に出かける際に危険箇所が事前に把握できる。	

女性	回答:その他
体育館や競技場など、中学生は自転車で行くこともあるので、公共施設の回りの安全マップがあると便利。	

まとめ

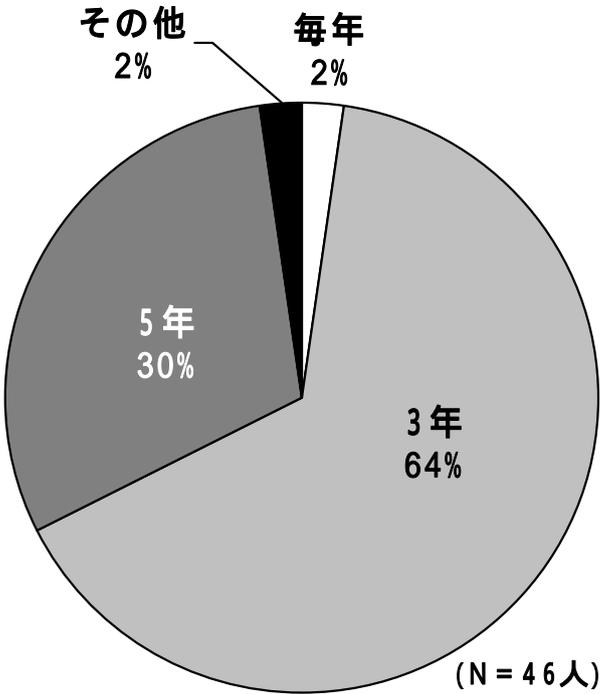
・「このままで良い」が74%と大半を占めた。その理由として、これ以上範囲を広げると集計作業が大変という意見があった。

・「もっと広い範囲を」が9%であった。その理由として、出かけた時のためにもっと広い範囲の危険箇所を知りたい。子供が中学校・高校に行っても利用できるようにしたいという意見があった。

・「もっと狭い範囲を」が9%であった。その理由として、もっと詳細な情報が知りたい、範囲が広いと地図が見づらいという意見があった。

10. マップはどのくらいの期間で更新するのが適切だと思いますか？

選択肢 毎年 3年 5年 その他



「3年」が64%と大半を占めた。続いて「5年」が30%となった。「毎年」は2%にとどまった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
毎年	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
3年	5	4	5	5	3	4	3	1	0	30
5年	1	3	2	1	2	0	1	3	1	14
その他・未回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「3年」と回答した方のご意見

女性	回答: 3年
道路状況は常に変わるので。	

女性	回答: 3年
できれば毎年だけど、3年くらいで更新して欲しい。	

女性	回答: 3年
でも大変ですね。	

女性	回答: 3年
行政サイドが3年くらいをとりあえず目標にとの事なので。	

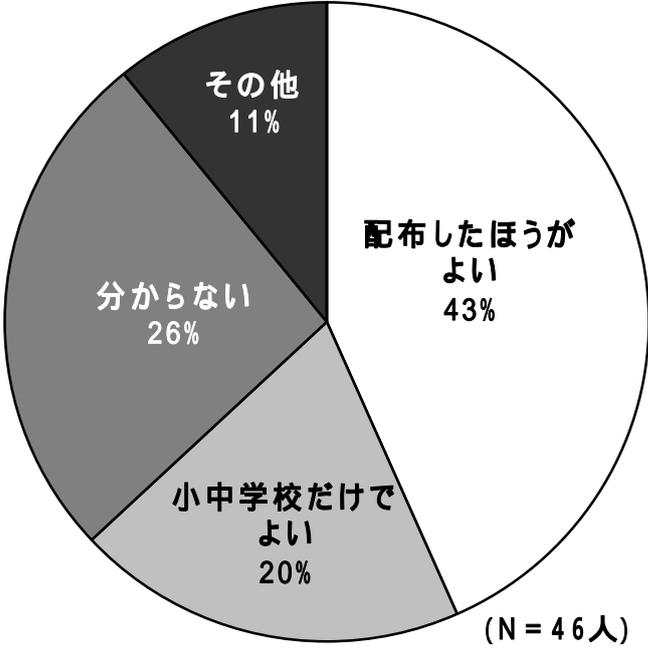
▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答: その他
2年に1回。	

まとめ

- ・「3年で更新」が6割、「5年で更新」が3割であり、3年更新を望む声が多かった。
- ・マップの新規作成地区と更新地区のバランスを考えて更新期間を設定していきたいと考えているが、新規作成範囲を拡大中(今年は駅西地区)は5年更新としたいと考えている。

11. 制作をした小中学校の他、地域住民の方にも配布したほうがいいですか？
 選択肢 配布したほうが良い 小中学校だけで良い 分からない その他



「配布したほうがよい」が43%、「小中学校だけでよい」が20%であった。

地区別・選択回答数										
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
配布したほうがよい	2	3	2	2	2	2	5	2	0	20
小中学校だけでよい	2	2	1	0	0	2	0	1	1	9
分からない	2	1	2	3	3	0	0	1	0	12
その他・未回答	0	1	2	1	1	0	0	0	0	5

(人)

続く



ご意見(選択回答別)

▶ 「配布したほうがよい」と回答した方のご意見

女性	回答:配布したほうがよい
危険箇所などの認識ができ、改善につながるのではないか。	

女性	回答:配布したほうがよい
歩行者だけでなく運転する側も気をつけないと意味がない。	

女性	回答:配布したほうがよい
地域で共通の意識がもてることが大切。	

女性	回答:配布したほうがよい
防犯のボランティアの方には配布しました(希望があった為)。	

女性	回答:配布したほうがよい
全住民というのは難しいが、公民館や児童館、お年寄りの集まる所などに配布。	

女性	回答:配布したほうがよい
お年寄り。	

▶ 「小・中学校だけでよい」と回答した方のご意見

女性	回答:小中学校だけでよい
スーパー等(自転車を利用する人の為に)町会等。	

女性	回答:小中学校だけでよい
地域の方は必要だと思われる方がもらえるよう、公民館、スーパー、銀行など公共の場にマップを何部ずつかおかせてもらえばいいと思う。	

▶ 「分からない」と回答した方のご意見

女性	回答:分からない
どのくらいの活用頻度があるのか。もらってもポイではなんにもならないし、かといって配らないとこの活動自体知ってもらえないし。町内の回覧板にはさんと、欲しい人は町会まで - などというのはいかが？	

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
各家庭ではなく、公民館やスーパーなど多くの人が集まる所に配布すればよい。	

続く



ご意見(選択回答別)

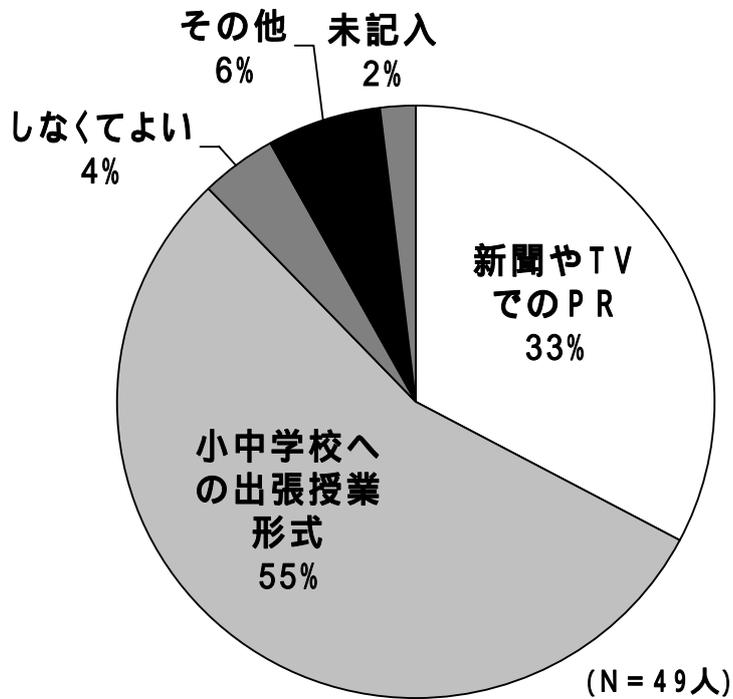
女性	回答:その他
幼稚園・保育所。	
女性	回答:その他
人の集まる場所(特に老人の)に配布して目につくようにしておくが良いと思う。	
女性	回答:その他
広域の地区は難しいが、能美市のように下敷き位にできると活用しやすいと思います。	
女性	回答:その他
希望者に配布。	

まとめ

・地域住民にも「配布したほうがよい」が44%であった。その理由としてこの活動を知ってもらいたい、利用してもらいたいという意見が多かった。地域で同じ意識を持つために利用したい、老人に配布したいという意見もあった。

・配布の方法としては、公民館やスーパー、子供会など人が集まる場所に置き、自由に持っていってもらおうという方法や、回覧板に挟んで希望者を募る方法などの意見があった。

12. 自転車・歩行者安全マップのPRをしたほうがいいですか？
 選択肢 新聞やTVでのPR 小中学校への出張授業形式 しなくてよい その他



「小中学校へ出張授業形式」が55%、「新聞やTVでのPR」が33%であった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
新聞やテレビでのPR	4	4	2	2	0	2	1	1	0	16
小中学校へ出張授業形式	4	4	3	1	5	2	4	3	1	27
しなくてよい	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
その他・未記入	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「小中学校への出張授業形式」と回答した方のご意見

女性	回答:小中学校への出張授業形式
高校生が自転車を利用することが多いので、交通安全に関心を持ってもらいたい。	

女性	回答:小中学校への出張授業形式
金沢市、石川県のPTA連合会や、小中学校の教頭会や校長会でPRしていけば、取り組みやすいと思う。	

女性	回答:小中学校への出張授業形式
メディア使用は逆に防犯面で危険な場合もあるのでは？	

▶ 複数回答の方のご意見

女性	回答:新聞やテレビでのPR・小中学校への出張授業形式
もちろん！！もっとして下さい。	

▶ 「その他・未回答」と回答した方のご意見

女性	回答:その他
沢山の人に知ってもらうことが大切と思われる。	

女性	回答:その他
地域の安全パトロール隊や保護者が自分達で子供達にPRする。	

女性	回答:その他
活用のPRが必要だと思います。	

まとめ

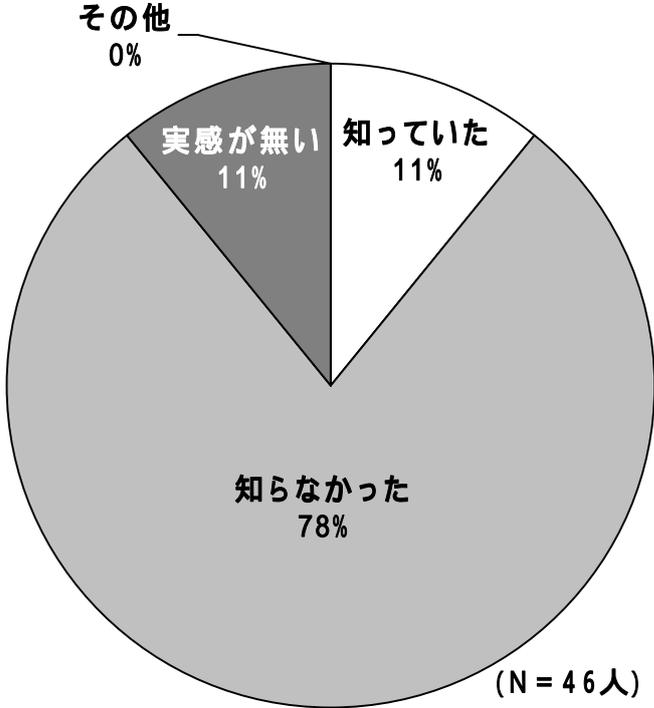
- ・回答者の88%がPRしたほうがよいと考えている。
- ・「小中学校への出張授業形式」55%、「新聞やTVでのPR」が33%であった。
- ・メディアを使用すると逆に危険ではとの意見もあった。



- ・教育委員会やPTA、メディアにもPRしていく。

13. 交通事故の56%が自宅から0～500mの範囲で起きていることをご存じですか？

選択肢 知っていた 知らなかった 実感が無い その他



「知らなかった」が78%と大半を占めた。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
知っていた	3	0	0	0	1	1	0	0	0	5
知らなかった	2	7	6	5	5	2	5	4	0	36
実感が無い	1	0	1	1	0	1	0	0	1	5
その他・未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「知っていた」と回答した方のご意見

女性	回答:知っていた
町内で3人の男児と老人が自宅から出た所で事故に合っています。	

▶ 「知らなかった」と回答した方のご意見

女性	回答:知らなかった
近くで事故が起きることは知っていたが、56%と聞きびっくり。	

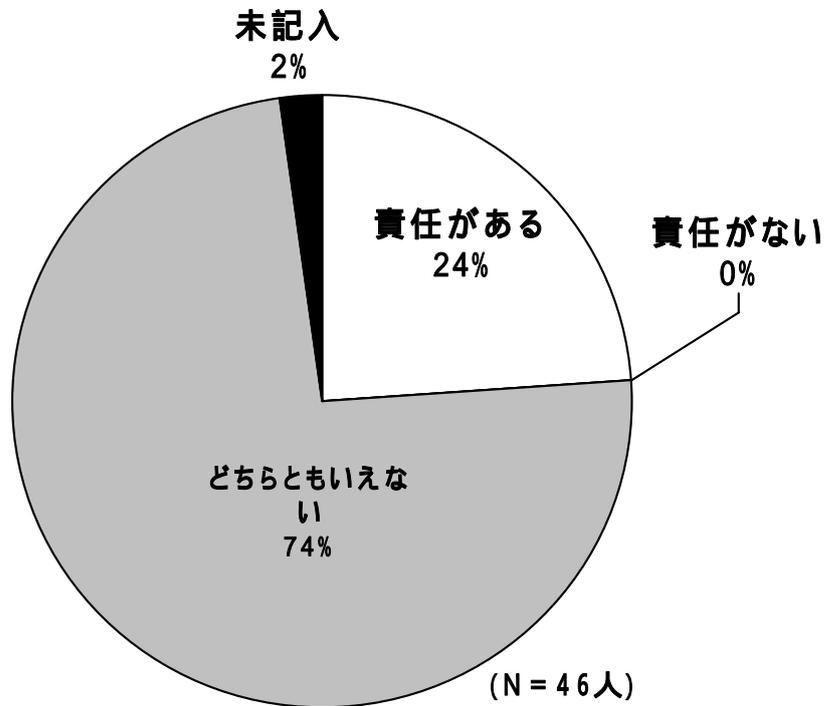
まとめ

・交通事故の56%が自宅から0~500mの範囲で起きていることを「知らなかった」が78%を占め、ほとんど一般に認知されていないことがわかった。



・住民に広報し、交通安全の啓発を図ることで、交通死傷事故は確実に減少すると考えられる。

14. 身近な生活道路で事故が多いのは危険箇所が未対策であるからで、行政に責任があると思いますか？
 選択肢 責任がある 責任がない どちらともいえない その他



「どちらともいえない」が74%、「行政に責任がある」が24%となり、「行政に責任がない」は0%となった。行政だけの責任ではないけれども、少なからず行政の責任があると思っている方が大半である。

	城下町地区									合計
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
責任がある	3	1	3	0	2	1	0	0	1	11
責任がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
どちらともいえない	3	6	4	6	4	3	4	4	0	34
その他・未記入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「責任がある」と回答した方のご意見

女性	回答:責任がある
冬の道路工事(予算のため?)・信号の設置場所(時差式の信号の優先がわかりにくい。)	

女性	回答:責任がある
自転車利用者の視点をもっと道路政策に加えてほしい。	

男性	回答:責任がある
だれが見ても危険な道路を地域の意見の集約を行政が積極的に進めるべきだ。地域にはエゴがありまとまらない。弱いものに危険が集中する。	

女性	回答:責任がある
自動車が狭い生活道路を必要以上にスピードを上げて走り抜けないようにすることが、交通事故を減らす一番良い方法だと思うがそもそもそのような発想を行政が持っているのか、疑問に思うことが多い。自動車のスピードをワザと故意に落とさせるような生活道路作りを心がけてほしい。	

女性	回答:責任がある
1.2件の事故ではなかなか動いてはもらえず、もう少し親身になってくれても……と思います。	

女性	回答:責任がある
すべてではないが、危険箇所をそのままにしておくべきではない。	

女性	回答:責任がある
実際に交通事故がおきて、検証にきたおまわりさんが、「ここは仕方がない」という発言をするのはやめて欲しい。道路を作るのは行政だから、事故が起きても仕方がない場所を作らないでほしい。	

▶ 「どちらともいえない」と回答した方のご意見

女性	回答:どちらともいえない
行政にも多少の責任はあると思うが、一人一人の意識が一番大切。良くない、改善してほしい所は、自分達の声でうたえる必要があると思う。	

女性	回答:どちらともいえない
責任はあるのだろうが、一人一人が十分注意することが大切であると思う。	

女性	回答:どちらともいえない
未対策も原因かもしれないが、危険であることがわかっているのだから、一人一人の危険箇所である自覚も大切だ。	

続く



ご意見(選択回答別)

男性	回答:どちらともいえない
両方に原因がある。住民の人たちも慣れてくると安全確認をしなくなったりする。中高生は危険な自転車の乗り方をする。	
女性	回答:どちらともいえない
各自の交通マナーにも問題があると思う。	
女性	回答:どちらともいえない
大人のマナーの悪さも原因かと。	
女性	回答:どちらともいえない
人身事故の場合、全て車が悪いともいえないことがあると思う。道路の歩き方、横断の仕方、交通ルールを守るということを人も自転車もきちんと学ぶ必要があると思う。	
女性	回答:どちらともいえない
やはりそれは、自己責任ともなうと思うから。自分の身は自分で守る事も必要ということの後世に伝える。	
女性	回答:どちらともいえない
たとえ、危険箇所が無くなったとしても、マナーが悪かったり、不注意から事故が起こると思う。	
女性	回答:どちらともいえない
本人の意識が一番大切だと思います。	
女性	回答:どちらともいえない
ドライバーや歩行者の安全に対する意識のしかたも関係すると思う。	
女性	回答:どちらともいえない
事故を起こされた方の無責任な行動も中にはあると思うので。	
女性	回答:どちらともいえない
明らかに危険な箇所はすぐに対処してほしい。他のことにお金をつかうなら。	
女性	回答:どちらともいえない
基本的に個人個人(車も歩行者も)が回りの状況を把握して注意していれば、事故は起らないと思うが、NTTドコモ彦三前交差点など、複雑に入り込んでいるところははっきりと線引きとしたり、駐停車の車の取り締まりをきびしくしたり、行政の力は必要だと思う。	
女性	回答:どちらともいえない
道路の状況と個人の注意力もあると思います。	

続く



ご意見(選択回答別)

男性	回答:どちらともいえない
スピードの出すぎが大きな原因だと思います。車のCMでスピードを強調するようなものが多いのも良くないと思います。	
女性	回答:どちらともいえない
旧市街地での道路幅の改善策は難しいですね。しかし、溝にふたをする、電柱を地下に入れる、一方通行にする等の改善方法を考えてほしいです。	
女性	回答:どちらともいえない
子供達にもしっかり交通ルールを教えることも大切だと思う。	
女性	回答:どちらともいえない
危険箇所というより、1人1人がもっと自覚しなくてはという意識をうながすのが必要では？	
女性	回答:どちらともいえない
個人の不注意？必ずしも行政に責任とは言えない。	

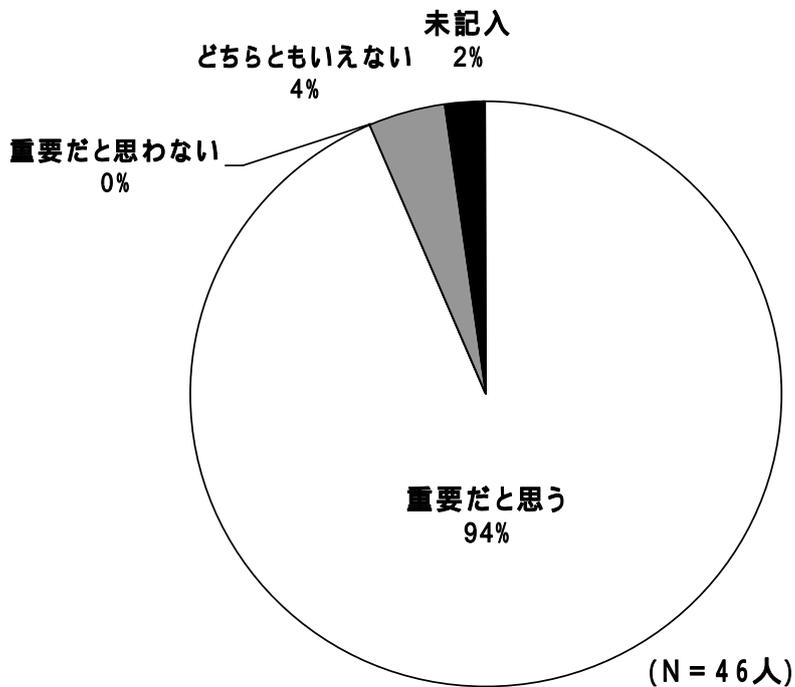
まとめ

・生活道路で事故が多いのは、危険箇所が未対策であるからで「行政に責任がある」が24%に対し、「行政に責任がない」が0%、「どちらともいえない」が74%であった。

・個人や道路環境に依存する部分と行政の対応に依存する部分の両面があるという意見と思われるが、少なからず行政に責任があると感じている方が大半であった。

15.交通事故のほとんどは「ルール違反」と「不注意」で起きています。交通事故を減らすためには、地域住民と行政が協力して対策を行うことが重要だと思いますか？

選択肢 重要だと思う 重要だとは思わない どちらともいえない その他



「重要だと思う」が94%、「どちらともいえない」が4%、「重要だとは思わない」は0%となった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
重要だと思う	5	7	7	6	4	4	5	4	1	43
重要だとは思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
どちらともいえない	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
その他・未記入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「重要だと思う」と回答した方のご意見

女性	回答:重要だと思う
住宅の専用道路に進入してくる車の規制は住民だけではどうしようもないので、行政も力を入れてほしい。	
女性	回答:重要だと思う
私自身も(自転車で)ルール違反や不注意でヒヤッとすることが多くあります。逆の立場にたった時、もう少し気を付けてくれればとおもうこともあります。	
女性	回答:重要だと思う
お互いに主張しあっても、早急な改善にはならないし、その時に納得し、一つ一つ改善するためには、協力が 必要だと思う。	
男性	回答:重要だと思う
なにもない時に行政が、なにか起きた時は地域が必要。	
女性	回答:重要だと思う
最近、運転していて一般常識の欠如、自分中心の勝手な運転・歩道といったことが、気になります。大人も子供も 道徳心が欠如しているように思います。地域住民・行政が協力して行うことがとても重要だと感じています。	
男性	回答:重要だと思う
すべてのことは、関わっているすべての人に責任があると思う。	
女性	回答:重要だと思う
地域の人たちは言いたいことがあっても、どこへ行って言えばいいのかわからないので、行政から働きかけたらど うか。	
女性	回答:重要だと思う
より細かな対策と本当に必要な対策か否かを判断するためにも協力しあうことが重要だと思う。	
女性	回答:重要だと思う
高校生の自転車のスピード運転や、携帯をしながらの運転がとても危険。まわりにも迷惑をかけるので。	
女性	回答:重要だと思う
「ルール違反」と「不注意」に関しては、金沢は他県からの学生も多いのでマナー違反も目立ちます。これらの対策 も必要かと思っています。	
女性	回答:重要だと思う
地域住民だけではなかなか違反者を強くとめることができず、やはり、行政が入ってしっかりと対策をしてくれな い限り、事故は減らないと思います。	
女性	回答:重要だと思う
子供たちに交通ルールを指導することも必要だと思うが、まわりの大人がまず良い手本とならなければならないと 思う。(例)横断歩道ではないところを平気で渡ったり、狭い裏道(住宅街)を減速せず走る、傘さし運転等悪い例が 多い。	


 続く

ご意見(選択回答別)

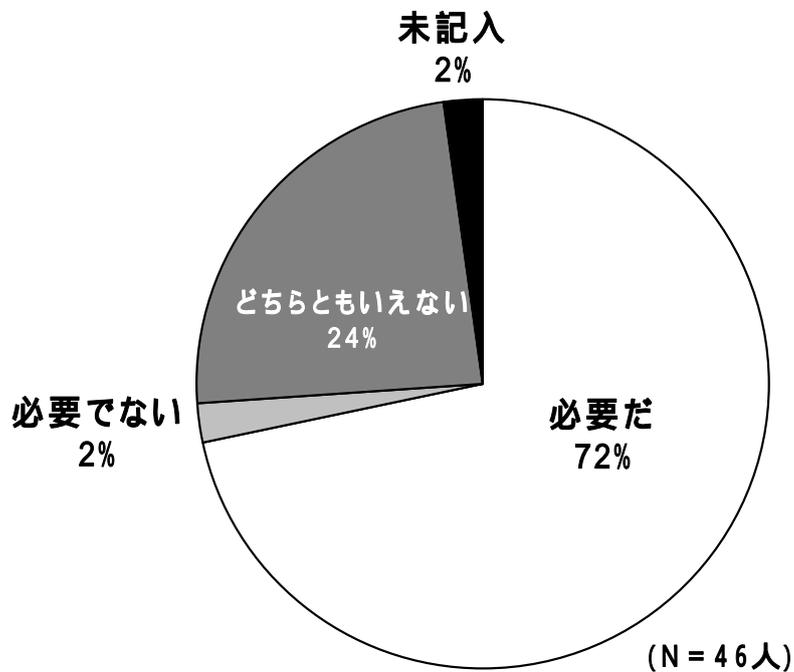
女性	回答:重要だと思う
意識改革と地域行政の連携が必要かと。	
女性	回答:重要だと思う
地域住民の生の声を聞くことが出来るから。	
女性	回答:どちらともいえない
ドライバーの問題であることがほとんどだと思うから。	
女性	回答:重要だと思う
ルールやマナーが悪いのは、教育の不足によるものと思われる。行政が「学ぶ」場と機会を作り、住民はそれに積極的に「参加して学ぶ」べき。	
女性	回答:重要だと思う
地域住民の申請で色々なことが改善できるから要望するようみんなにわからせるよう説明会などして欲しい。	
女性	回答:重要だと思う
両方の責任だと思うから。	
女性	回答:重要だと思う
自転車の乗り方指導や交通法規等を、大人にも子供にも正確に指導すべきです。大人の無灯火等が多すぎますね。	
女性	回答:重要だと思う
注意を喚起することは事故を減らす一助となると思う。	

まとめ

・地域住民と行政が協力して対策を行うことが「重要だと思う」が94%であった。住民は行政と協力することを望んでいることがわかった。

**16. 危険箇所において、行政の対応に加え、地域住民である自分達が行う対応も必要だと思いますか？
必要な場合、どのような対応が考えられますか？**

選択肢 必要だ 必要ではない どちらともいえない その他



「必要だ」が72%、「どちらともいえない」が24%、「必要ではない」は2%となった。

	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
必要だ	5	6	4	3	3	3	5	3	1	33
必要ではない	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
どちらともいえない	1	1	3	2	2	1	0	1	0	11
その他・未記入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「必要だ」と回答した方の意見

女性	回答:必要だ
新聞の「石川県の公報ページ」などで、目安箱的な危険箇所があったらご一報をのよな、電話番号・FAX番号を常時のせてほしい。対策:例のような場合もペンキが薄くなっている時に連絡ができる。	
女性	回答:必要だ
路上駐車をしない様、させない様にする。最近、子供達のために防犯パトロールの老人が多く出てますが、動きがにぶく、交通のさまたげになっている時もあるのでは? 善意の気持ちは感謝していますが、行政の指導の下でやってほしい。	
女性	回答:必要だ
自分自身が気をつけることは元より、子供との会話でも話題に出し、常に注意することが必要。	
男性	回答:必要だ
設備や施設で住民だけでできないものもある。住民は横断歩道に立つとか安全運転するとか、簡単に出来ることがあると思う。	
女性	回答:必要だ
具体的によくわからない。	
女性	回答:必要だ
行政が用意・設置したもの(カーブミラーのようなものの場合)に地域住民は無関心でなく大切に使うよう意識的に行動する(汚れたらふいたり、まがったりしたら正しく付け替えたりすること)。	
女性	回答:必要だ
行政にたよるだけでなく、自分たちの町は自分たちで改善できるところはしていかなければいけないと思う。ペンキ塗りなどは協力出来ると思う。	
女性	回答:必要だ
もちろん、地域住民の努力も必要だと思います。もっともっと、行政に働きかけて、動いてもらうよう努力しないと。	
女性	回答:必要だ
小学校前の通学時間帯の制限(一方通行など)は、その周辺に住む人たちの理解と努力が必要。	
女性	回答:必要だ
集会などの際、説明などをして理解してもらおう。自分たちでできることは、対策をとることができると思う。	
女性	回答:必要だ
情報をみんなに知ってもらおう。	
男性	回答:必要だ
みんなが常に気をかけていることが大切だと思います。子供たちに注意することなど。	


 続く

ご意見(選択回答別)

女性	回答:必要だ
黄色の飛び出し防止線のペイント等もしっかりすべきだし、何より各家庭で子供達に一旦停止等を親達が指導すべきです。	
女性	回答:必要だ
地域住民の見まわり。	

▶ 「どちらともいえない」と回答した方の意見

女性	回答:どちらともいえない
地域住民の意識の差が地区によって大きいと思われるから。	

▶ 「必要だ」と回答した方が考える地域住民の対応

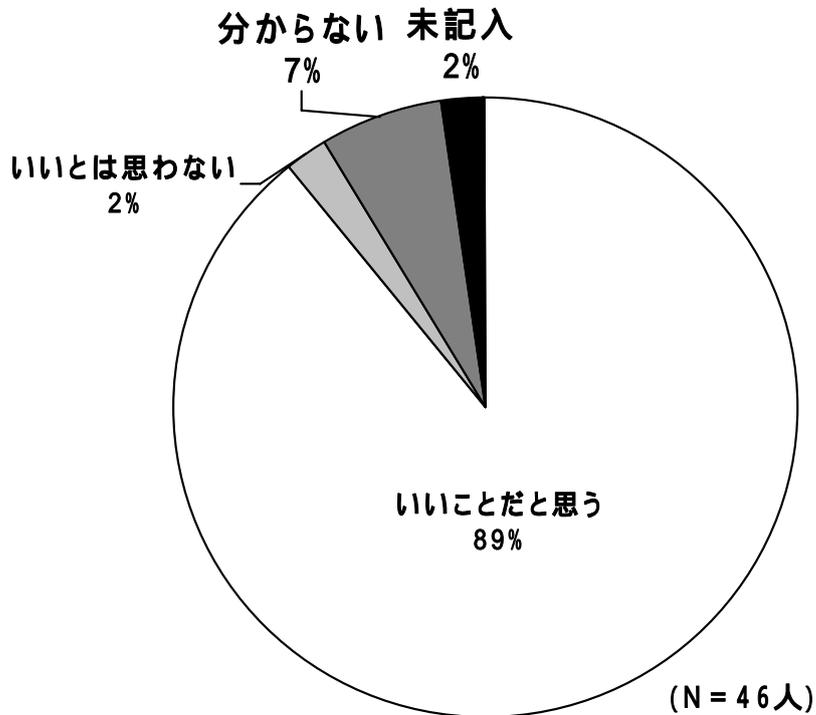
男性	回答:必要だ
例に対して「個人的には協力したい」。	
女性	回答:必要だ
まず、理解してもらえよう、行政と学校(育友会)と地域との話合いの場を設け、理解してもらえたら、看板やペンキ塗り等は協力で行うとよい。	
女性	回答:必要だ
飛び出し防止線や足形は毎年学校育友会が行っています。	
女性	回答:必要だ
例に対して「はい」。	
女性	回答:必要だ
看板・ペンキ塗り(材料を提供していただければ、でも協力出来る方はかざられるかな?)。	
男性	回答:必要だ
住民は迷惑するのみ、協力はしない。	

まとめ

- ・地域住民で行う対応も「必要だ」が72%であった。住民自らも危険箇所を改善したいという意識が高いことがわかった。
- ・何かあったときに連絡できるよう「連絡先の電話番号、ファックス番号」を常時乗せて欲しい。
- ・横断歩道に立つとか、子供への交通安全指導など、住民でできることは住民が行ない、設備や施設など住民だけではできないものは行政が対応すべき。
- ・看板設置やペンキ塗りは、材料を行政が準備すれば協力してもよいという方もおられた。
- ・住民は迷惑するのみで、行政の協力はいらぬという意見もあった。

17. 道路利用者(地域の皆様)が、自ら道路を点検し改善要望することをどう思いますか？

選択肢 いいことだと思う いいとは思わない 分からない その他



「いいことだと思う」が89%、「いいとは思わない」が2%、「分らない」は7%となった。

地区別・選択回答数										
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
いいことだと思う	6	4	7	5	6	3	5	4	1	41
いいとは思わない	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
分らない	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
その他・未記入	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「いいことだと思う」と回答した方の意見

女性	回答:いいことだと思う
自分達の生活道路だから。	
女性	回答:いいことだと思う
あたりまえだと思う。	
女性	回答:いいことだと思う
実際生活している人の声は大切。改善要求はいいこと。	
女性	回答:いいことだと思う
地域の人が地域の事が一番良く分かるはずだから。	
女性	回答:いいことだと思う
要望しないと危ないことを理解してもらえない。	
女性	回答:いいことだと思う
車だけでなく、歩行者の声が反映されてよいと思う。	
男性	回答:いいことだと思う。
地域のことはその住民が一番よく分かっている。多くの人々の情報をまとめて、行政に報告すべきだと思う。	
女性	回答:いいことだと思う
地域の人達が一番地域の道路、交通事情がわかっているの、的確な意見が出ると思う。	
女性	回答:いいことだと思う
いいことだと思いつつもどこに要望するかとか、どう改善するか等、具体的なことになるとなかなか協力してくれる人が少ないという欠点が生じると思う。	
女性	回答:いいことだと思う
地域の利用者が一番よくわかることだから。	
女性	回答:いいことだと思う
住民の安全確保の為に積極的に行政に働きかける。	
女性	回答:いいことだと思う
実際に利用していないと気付かないことが多い。	

続く



ご意見(選択回答別)

女性	回答:いいことだと思う
声を出すことは必要だと思います。	
女性	回答:いいことだと思う
使わなければわからないところを指摘せねばならない。PR。	
女性	回答:いいことだと思う
自分で歩いたりしないと分からない事が多いと思うので。	
女性	回答:いいことだと思う
日頃、利用している者でないと気付かないことがたくさんあると思うから。	
女性	回答:いいことだと思う
改善要望できることを知らない人が多いと思うので、その前に分かって欲しい。	
女性	回答:いいことだと思う
利用者でないと分からない危険があるから。	
女性	回答:いいことだと思う
地域の方が一番細かい点まで知っているから。	
女性	回答:いいことだと思う
どの用件はこの課に申し出るのが良く分からないので、行政誌やリーフレットやチラシ等で各家庭に知らせてもらいたい。	
女性	回答:いいことだと思う
行政に行き届いていないと思うから、自分たちで出来ることはすればよい。	
女性	回答:いいことだと思う
直接、声を聞いてもらえるのでいい。	
男性	回答:いいことだと思う
地元の人の方が現状がわかるから。	
女性	回答:いいことだと思う
実際に道路を歩いている人の意見が一番反映されるべきと思う。	


 続く

ご意見(選択回答別)

女性	回答:いいことだと思う
歩行者、生活者の目線で道路の利便性と考える必要があると思う。	

▶ 「分からない」と回答した方の意見

女性	回答:分からない
点検作業中の安全がどう確保されるのか不安。	

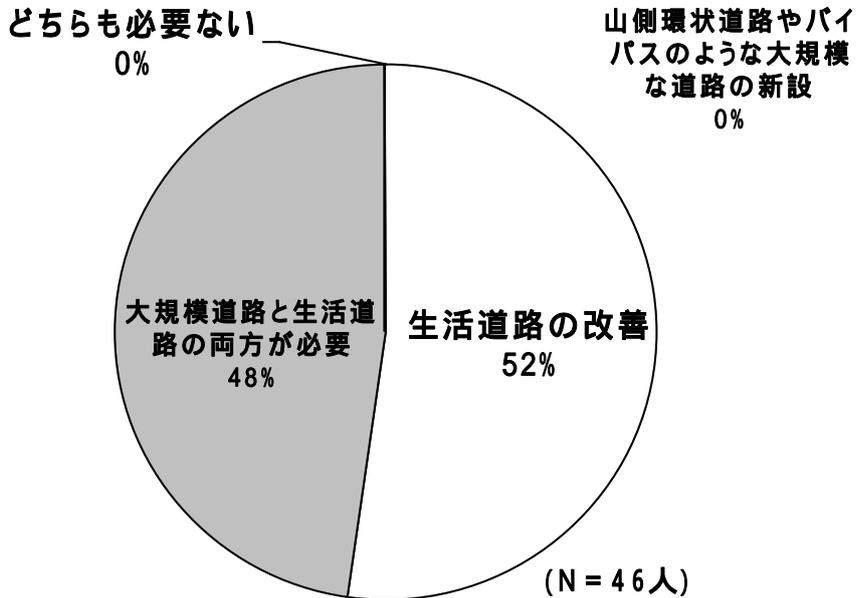
女性	回答:分からない
いいことだと思うが、いつもやる人が決まっていて、無関心な人もいつも決まっていて、やってくれる人の負担が大 きい。	

まとめ

- ・住民自ら道路を点検し、改善要望をすることに「賛成」が89%であった。
- ・いつも使用している住民が一番わかっている、住民にしかわからない危険箇所があるなどの意見が多かった。
- ・点検はいいことだと思うが、どのように改善すればいいか、どこに相談すればいいかがわからないとの意見があった。
- ・道路を点検する際の安全確保が必要という意見があった。

18. これからの道路整備はどれを優先したらいいですか？

選択肢 山側環状道路やバイパスのような大規模な道路の新設 生活道路の改善
 大規模道路と生活道路の両方が必要 どちらも必要ない



「生活道路の改善」が52%、「大規模道路と生活道路の両方が必要」が48%、「山側環状道路やバイパスのような大規模な道路の新設」は0%であった。

地区別・選択回答数										
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
			山側環状道路やバイパスの大規模な道路の新設	0	0	0	0	0		
生活道路の改善	3	2	3	4	3	2	3	3	1	24
どちらも必要	3	5	4	2	3	2	2	1	0	22
どちらも必要ない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他・未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「生活道路の改善」と回答した方の意見

女性	回答:生活道路の改善
渋滞対応でバイパス等出来ていくのもよいが、それらは、すぐに出来ることではない(数年かかる)。小さい所を改善ならしやすいのではないか。地図にのる大きな所ばかりでなく、細かい所の方が大切と考えます。	
女性	回答:生活道路の改善
車優先でなく、歩行者や自転車利用者の通りやすい道路を考えてほしい。特に冬場の大通り。	
女性	回答:生活道路の改善
大規模な道路ができると、高速道路なみのスピードで走る車が増えて、かえって事故が起きるように思います。	
女性	回答:生活道路の改善
子供たちの通学路、お年寄りが通る地域の道路など。又、障害者のためのものなどきちんと整備してほしい。	
女性	回答:生活道路の改善
融雪装置をつけて雪でも自転車が通れるようにしてほしい。歩行者や自転車が安全で通りやすい道路にしてほしい。	
女性	回答:生活道路の改善
大規模な道路の新設も大切なことかもしれませんが、安心して過ごせる様に危険な箇所での事故が1件でも少なくなる様に生活道路を見直してほしい。	
女性	回答:生活道路の改善
その地域の住民が安心安全に生活できることが一番だから。	
女性	回答:生活道路の改善
自転車と歩行者の安全を確保して欲しい。	
男性	回答:生活道路の改善
とくに走行車や自転車空間の整備。バリアフリー。	
女性	回答:生活道路の改善
道幅がせまくて、お年寄りが多いのでけっこう危険が多い。	
女性	回答:生活道路の改善
自動車を運転しません。自転車に出ることが多いので。	


 続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「大規模道路と生活道路の両方が必要」と回答した方の意見

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
子供や老人を事故から守る事を優先したい。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
どちらも必要だが、山側環状が出来、すごくスピードが速く、高速を走っているようで怖い。また鳴和校下の子供達の危険度が増えたように思う。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
山側環状は確かに便利だと思いますが、毎日の生活道路もより安全であればありがたいです。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
用途にあわせて道を使い分けれることが出来るから。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
どちらも上手に融合させ、生活道路を機能させる。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
大きな道路が整備されないと、生活道路などが抜け道化してしまうと思う。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
どちらもつながっている。(生活道路への車の進入をバイパスなどを作ることで、改善されることもあるから)。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
渋滞の緩和・道のカタカタが多い。自転車、ベビーカー、車イスに不親切。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
従来あるべき所に環状道路を通すからには、安全対策をしっかりと考えてから施行して頂きたいですね。	

女性	回答:大規模道路と生活道路の両方が必要
その時代時代で、道路に対する必要性が変化するから。	

続く



まとめ

・これからの道路整備の優先度について、「生活道路の改善」が52%、「大規模道路と生活道路の両方が必要」が48%であり、生活道路の改善に重点を置いて欲しいと考えている方が多いことがわかった。

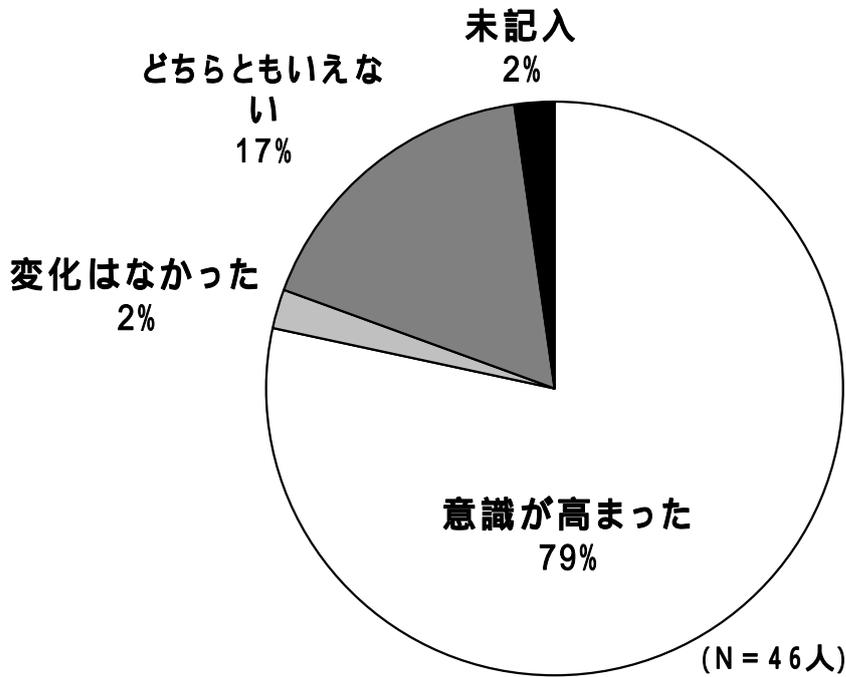
・一方、大きな道路が整備されないと、生活道路が抜け道化してしまうとの意見もあった。

(参考:山側環状全線供用後、金沢市内の渋滞が緩和されたことに伴い、朝夕の通勤時に抜け道を探して生活道路に入り込んでいた車両が幹線道路に転換し、金沢東警察署管内では交通死傷事故件数が大幅に減少している。)



・生活道路と大規模道路のバランスのとれた道路整備を行うことが重要。

19. マップを作成したことにより、交通安全や道路の安全性に対する意識の変化はありましたか？
 選択肢 意識が高まった 変化はなかった どちらともいえない その他



「意識が高まった」が79%、「どちらともいえない」が17%、「変化はなかった」が2%となった。

地区別・選択回答数										
	森本地区	鳴和地区	城下町地区						地区不明者	合計
			味噌蔵町小	中央小	明成小	材木町小	馬場小	小将町		
意識が高まった	5	7	7	1	4	4	4	3	1	36
変化はなかった	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
どちらともいえない	1	0	0	4	1	0	1	1	0	8
その他・未記入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(人)

続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「意識が高まった」と回答した方の意見

女性	回答:意識が高まった
意識する事によって、また声をかける事によって、力になっていただける事もある事。	

女性	回答:意識が高まった
自転車が走りやすい道路が少ないということが、とても気になるようになった。	

女性	回答:意識が高まった
今まではドライバーの視点で道路を見ていたが、マップの調査・作成を通して歩行者の視点に立って考えるようになった。	

女性	回答:意識が高まった
今まで知らなかった、自分の住んでいる以外の危険が分かるようになった。また、運転のしかたが変わった。	

男性	回答:意識が高まった
自分の知らなかった道路や交差点が多くの方の声により危険な箇所だということが分かった。	

女性	回答:意識が高まった
今までわかっている、見て見ぬふりしていたのが、マップ作成に協力したことで、地域のみならず全体を通してすごく意識し、自分自身も気をつけるようになった。	

女性	回答:意識が高まった
自らの交通マナーを省みる様になった。	

女性	回答:意識が高まった
とても細やかな所まで気にして見るようになったし、日々子供たちがどのように活動しているかがよくわかって安心した。	

女性	回答:意識が高まった
いろいろな危険箇所や、道路の不便さがわかった。	

女性	回答:意識が高まった
今まで気付かなかった箇所を把握できた。	

続く



19. マップを作成したことにより、交通安全や道路の安全性に対する意識の変化はありましたか？

ご意見(選択回答別)

女性	回答:意識が高まった
<p>実際、息子が1年(小学校)の時に車にはねられており、(マップにのっている場所で)今では大きくなりましたが、一緒にマップを見てその時のことを思い出し、またこれからも気をつけていかなくてはということ話し合いました。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>車を運転する立場の視点でしか考えていなかったが、歩行者(特に子供や老人)の立場で、考えるようになった。危険が身近にたくさんあると理解できた。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>何気なしに通っていた場所も注意しながら動いているようになった。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>漠然と危険性を感じていた道路に対して、何故危険なのか、どう改善したらいいのか、考えるようになった。新聞の道路に関する記事も良く読むようになった。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>子供たちに道路の危険について、話しをすることが多くなった。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>やっぱりね…って思いました。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>作成するまであまり考えていなかった。いろんな事も分かりました。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>学校での制作だった事、子供たちが制作した事、先生達の中でも意識が高まったと思う 同封の写真について・兼六大通りの北陸BK前のペイントですが、最近描かれたようです。この場所のみですか？一体だれが描いて下さったのかを知りたいのですが。</p>	
<p>調べてご連絡します。連絡先はこちら または裏表紙まで 国土交通省金沢河川国道事務所 交通対策課長 石川俊之 TEL(076)264-8800(代)</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>改めて危険な道、安全な道がわかった。子供が出かける時にもしっかり教えられる。</p>	
女性	回答:意識が高まった
<p>自分が歩行している時、自転車に乗っている時、車を運転している時、その時々で道路について考えるようになった。</p>	


 続く

ご意見(選択回答別)

▶ 「変化はなかった」と回答した方の意見

女性	回答:変化はなかった
あぶない箇所の多いのにびっくりしたが、自分の生活圏内でないと実感がわかない。	

▶ 「どちらともいえない」と回答した方の意見

女性	回答:どちらともいえない
大人の目線での意識が多く、老人・子どもの目線までの変化が少なかった。	

女性	回答:どちらともいえない
もっと学校でもこのマップを使った指導をするべき。	

まとめ

- ・マップを作成することにより、「交通安全意識が高まった」という意見が79%を占めた。
 - ・自分の生活圏内でなければ実感がわかない、老人・子供の目線で見ることへの変化が少なかったという意見があった。
- ↓
- ・交通安全への意識を高めるには、配られてマップを見るよりも、自ら作成した方がより意識が高まると考えられる。

その他ご意見等あればご自由にご記入ください。

女性	
<p>今まで、不便だなと感じていた道が作成したことによって、こんなに改善されるとは思いませんでした。素直にありがとうございましたと思います。</p>	

女性	
<p>自分が全く知らないところで、みんなのことを深く考えていただき、善処に向けて活動をして下さっていることに感謝します。</p> <p>と同時に車を第一に利用してしまっている自分の現状にハッとさせられました。横断歩道での停止はもちろんしていましたが、具体的に5m先に止まる事を教えていただきました。みなさまのご活躍をもっともっとPRして下さい。</p> <p>そしてもっともっと、みんなで考える機会をふやしていけたらよいと思います。ありがとうございました、はこちらの言うことです。本当にありがとうございました。</p>	

女性	
<p>マップ作成のお手伝いをして、主催の方々の熱心さや前向きな姿勢に感心しました。その熱意で道路の安全に取り組んでいただけること、改善された所もたくさんあったことうれしく思います。これからも子供の安全のため、道路の改善にがんばって下さい。</p>	

女性	
<p>私は、マップ制作にかかわる前は結構いいかげんで、ま、いいじゃない！っていう考えだった所が多いけど、自分の目で見、子供たちの意見をまとめているうちに、これではいけないと思うようになった。そして、あきらめたこと(ここはこんなだからしょうがない)って思ってたことが、次々改善されていくのを見て、すごい！って思った。多くの事、学ばせていただいたと思います。</p> <p>学校での制作だった事、子供たちが制作した事、先生達の中でも意識が高まったと思う。</p> <p>同封の写真について・兼六大通りの北陸BK前のペイントですが、最近描かれたようです。この場所のみですか？ 一体だれが描いて下さったのかを知りたいのですが。</p>	
<p>調べてご連絡します。連絡先はこちら または裏表紙まで 国土交通省金沢河川国道事務所 交通対策課長 石川俊之 TEL(076)264-8800(代)</p>	

女性	
<p>今後とも子どもたちとお年寄りのために改善して頂けるよう宜しくお願いします。</p>	

女性	
<p>鳴和中学校の前の道路が一番気になっているのに、未改善のままです。子どもたちは歩道を歩いていますが、地域の方がNTT側を歩いたり自転車で通ったり、溝に落ちそうなを見るとせめて溝にフタをすることができないものかと思います。(できれば電柱も地中化で)</p> <p>今、私の子どもは高校生になり自転車通学をしていますが、金沢は自転車で走るには危険な街だと思います。</p> <p>車道を走ればクラクションを鳴らされるか接触されそうになり、歩道を走れば歩行者の迷惑です。自転車はどこを走ればいいのか？ 高校生のモラルももちろん問題ですが、安心して自転車に乗れる街になってほしいものです。</p>	

続く



女性	
<p>東大通り 鳴和交差点 卯辰トンネルにかけて交通量が増え、スピードも速くなっていて、もっと子供の安全がマップを作成した頃より、危険にさらされていると実感している。また自分勝手な運転、歩道者、自転車を乗っている人がとって増えていると思う。一人一人が気をつける、自分勝手な行動はやめると言ったことをなおしていくことを気にかけるだけで、今より事故が減る気がするのだが、無理なことなのだろうか。</p> <p>今まで、不便だなと感じていた道が作成したことによって、こんなに改善されるとは思いませんでした。素直にありがとうございましたと思えます。</p>	

男性	
<p>地図づくりにご協力いただき感謝しております。一人の力、学校の力、地域の力だけではできないこともあります。この数年間は私たちの活動に、とても有意義な期間でした。</p> <p>安全マップ作りはどんどん広がって、今全国レベルで広がっています。地図づくりを通して安全に対する意識が広がっていくことが大切だと思います。</p>	

女性	
<p>地道な活動ご苦労様です。今後とも宜しくお願いします。</p>	

女性	
<p>私達が始めた校下中学での「文化祭でのテーマコーナー」がこのように行政や大勢の方々のお力ですばらしい取り組みとなり感無量です。初期のころしか携われなかったのは少々残念ですが、個人の力も集まれば大きな波となり国をも動かすことができることを改めて学んだ気がします。それと同時に、他人に訴える事だけでなく、自らの行動をも省みる事が必要だと思いました。権利を主張することは、義務を全うすることとが有るからこそ成り立つ表・裏の気がしています。道路が良くなる、環境が良くなるなどはハードの部分であり、そこに住んでいる人々(ソフト)が道徳心にあふれ、自らの行動に責任をもち生きているのであれば、こんなすばらしい地域に危ないことなど起こりえないでしょうね。</p>	

女性	
<p>直接、道路とは関係ないかもしれないのですが、側溝にふたをしていただけなのは確かに車をよけるスペースもできて、私達だけでなく、子供・老人にもいいと思います。</p> <p>でも冬に雪が降った際の雪捨て場の役割を果たしていたという点では、ふたがされてしまうととても不便です。(融雪がないところもあるので)。</p>	

女性	
<p>同封の新聞記事のように、金沢も、"自転車どこへでも"出掛けられるような街になってほしいと切に願っています。</p>	

女性	
<p>マップを作成し、このアンケートを書いていくうちに、交通安全や道路の安全性に意識が高まった。もっと他の人、特に高校生などになんらかのかたちで関わってもらえたらすこしでも交通事故が減らせないだろうか？</p>	

続く



女性	
金沢市内、全般に歩道がガタガタである。特に自動車は段差が障害になり、通行しにくい。	

女性	
息子のはねられた場所は、今も改善されておらず、そこを通るたびに"あーここだったな"と思い出します。又、今だに改善されていないことにとても残念な思いがします。その後も小さな事故がちよこちょ起こっており、早急に見直して頂きたいという思いがあります。やはり、地域の方々と行政に訴えなければ伝わりませんよね。訴えてもなかなか…という現状ですが、3年以内に何とかガードレールの設置という話もありますが、もっと早く動いてくれてもと思っています。この思いは事故にあった方にしか分からないと思います。	
是非場所を教えてください。管理者に個別要請いたします。連絡先はこちら または裏表紙まで 国土交通省金沢河川国道事務所 交通対策課長 石川俊之 TEL(076)264-8800(代)	

女性	
アンケート15に追加して、賢坂辻交差点近く精肉店前(扇町1-7)の件で、冬場の雪に対して町会の方たちがいろいろ考えた末に考案されたであろう融雪装置が、雪の時期以外は、子供たちや自転車(ベビーカーや車イス)にとって、とても危険なものとして存在しています。良かれと思ってされたこと(実際に冬場はとてもありがたい)ですが、今一度、安全面の上から考えて頂きたいと思います。地域の協力がないと、改善できないことだと思います。	

女性	
長町の用水沿いの道の改善は観光客のため、見栄えよくしたのだと思う(こちらからの要望ではなく)。もっと奥の狭い生活道路までは今後も改善されないと思う。 写真の訂正を、「追加提案22」の22・2と23・3の写真の下の説明文を取りかえてください。	

女性	
道路の改善がなかなか進んでいないことにおどろきました。事が起きないと行政は動かないものでしょうか。校下の町会へのマップのPRと活用も促すこともよいかなと思いました。	

女性	
車道 歩道へ、乗上げる際のわずかな段差が車イス・自転車には非常にキケンです。行政がすぐに改善出来ないほど、重要なことなのかいつも疑問です。	

女性	
今回、マップ作成に携わった保護者を対象にアンケートをとったのであれば、ぜひ、小中学校の校長、教頭、教職員にも同様に聞いて頂きたい。 行政の方たちは改善出来ない理由に「前例がない」とか、「法的に無理」と言うが、他県での取組み、外国での取組みを参考にしたり、住民の改善策を前向きにとらえ、努力する方向にもって行って頂きたい。	

女性	
自転車は歩道を走ってはいけないことはよくわかるが、車道を走ることにより危険が増しているし、突然の車道飛び出しなどあり、車を運転する者にとってはとても迷惑なことである。自転車が通れる歩道を整備していくべきです。学校や児童館前などに"危ない！スピードおとせ"などの看板をつける際に費用など補助してくれるのでしょうか？考えていただきたいと思います。	


 続く

女性	
<p>地球温暖化対策で、なるべく車を使わず、自転車を利用しようと思うのですが、バスの停留所など、とても運転しづらいです。例えば武蔵ヶ辻の近江町前のバス停や、日銀前のバス停など。自転車専用道路などあればいいのですが。雪が降った時、車道の除雪が優先され、歩道が雪だらけで歩きづらい。民家があるところは、その家のほうが除雪しているが、大通りはそのまま放置される傾向がある。</p>	

女性	
<p>金沢は道が狭いので大変です。道のガタガタも多いし、自転車・ベビーカー・車イスなどに不親切です。でもめんどろな事をよくがんばっていると思います。ご苦労様です。ありがとうございます。</p>	

男性	
<p>たいへんすばらしい取りくみだと思います。今後も継続していただければうれしいです。</p>	

女性	
<p>一度に市全域を改善する事は困難な事ですし、資金もかかります。しかし、地域の人でも出来る事(行政が許可する共通のペイント等・etc)から行政と住民が協力して市全体の安全を考えていくべきです。もちろん、自動車免許更新時の様な新しい法規や正しい乗り方の講習会が自転車でも定期的かつ地域ごとに全住民にされる様な事をしてゆく事がベストだと思いますよ。今後、私の住む地域等で新たな危険を発見した時はどこに申し上げれば良いのかという窓口をはっきりしておきたいですね。この様な追跡アンケート等をどんどんやって頂く事はとても有効ですね。大変ですが、今後も続けて頂けたらと存じます。</p>	

女性	
<p>馬場地区、改善率0%におどろきました。もっとこのマップを活用して危険ヵ所に注意するように地域住民、小中学校に広めてほしい。 ホームページで写真なども出ているのをはじめてみました。もっとみなさんが安全にすごせるよう改善すべきところはするように…。ホームページ等を広め、地域住民の生の声を聞く場にしてほしいなあと思います。</p>	

女性	
<p>大して役に立たないようなコメントばかりですみません。作業の過程はなかなか大変でしたが、とてもやりがいがありました。マップ作りに参加して、身近な道路についての関心が高まりました。</p>	

女性	
<p>歩道などは段差の無いのでお願いします。</p>	

< アンケートに関するお問い合わせ先 >

〒920-8648 金沢市西念4丁目2番5号
国土交通省金沢河川国道事務所 交通対策課
tel 076-264-8800 内線471～473
fax 076-233-9632
mail kanakou@hrr.mlit.go.jp